

予算決算常任委員会会議録

1. 開催日 令和3年3月12日(金) 9時45分～16時40分
2. 開催場所 玉城町役場 3階 第1委員会室
3. 出席委員 (12名)

委員長	坪井 信義	副委員長	中西 友子	委員	福田 泰生
委員	渡邊 昌行	委員	谷口 和也	委員	津田久美子
委員	前川さおり	委員	山路 善己	委員	中西 友子
委員	北 守	委員	坪井 信義	委員	奥川 直人
委員	風口 尚	委員	小林 豊		
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 議長 山口 和宏
6. 出席参与 <一般会計>

町 長	辻村 修一	副町長	田間 宏紀	教育長	中西 章
会計管理者	藤川 健	総務政策課長	中西 元	税務住民課長	田村 優
建設課長	中村 元紀	産業振興課長	里中 和樹	保健福祉課長	奥野 良子
教育委員会事務局長	中西 豊	生涯教育課長	平生 公一	防災対策室長	見並 智俊
地域共生室長	中西扶美代	生活環境室長	山口 成人	地域づくり推進室長	中川 泰成
税務住民課長補佐(総務担当)	梅前 宏文	税務住民課長補佐(住民担当)	福井希美枝	保健福祉課長補佐	中野 雄広
建設課長補佐	藤原 正成	憲法課長補佐(都市計画担当)	松田 臣二	保健福祉課地域共生室長補佐	西野 珠代
教育総務課長補佐	内山 治久	生涯教育課長補佐	山口 明子		

出席参与 <特別会計・企業会計>

町 長	辻村 修一	副町長	田間 宏紀	教育長	中西 章
会計管理者	藤川 健	総務政策課長	中西 元	保健福祉課長	奥野 良子
産業振興課長	里中 和樹	上下水道課長	真砂 浩行	病院老健事務局長	中世古憲司
地域共生室長	中西扶美代	保健福祉課長補佐	中野 雄広	保健福祉課地域共生室長補佐	西野 珠代
上下水道課長補佐(総務担当)	山本 陽二	病院老健事務局長補佐	竹郷 哲也		
7. 職務のため出席した者の職・氏名
議会事務局長 山下 健一 同書記 宮本 尚美
8. 会議録署名委員 渡邊 昌行 委員 谷口 和也 委員
9. 委員会付託議案審査について
 - 第1 議案第16号 令和2(2020)年度玉城町一般会計補正予算(第10号)
 - 第2 議案第17号 令和2(2020)年度玉城町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
 - 第3 議案第18号 令和2(2020)年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)

- 第4 議案第19号 令和2（2020）年度玉城町山村振興事業特別会計補正予算（第3号）
- 第5 議案第20号 令和2（2020）年度玉城町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- 第6 議案第21号 令和2（2020）年度玉城町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 第7 議案第22号 令和2（2020）年度玉城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 第8 議案第23号 令和2（2020）年度玉城町病院事業会計補正予算（第3号）
- 第9 議案第24号 令和2（2020）年度玉城町水道事業会計補正予算（第3号）
- 第10 議案第25号 令和2（2020）年度玉城町介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）
- 第11 議案第26号 令和2（2020）年度玉城町下水道事業会計補正予算（第3号）
- 第12 議案第27号 令和3年度玉城町一般会計予算
- 第13 議案第28号 令和3年度玉城町国民健康保険特別会計予算
- 第14 議案第29号 令和3年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 第15 議案第30号 令和3年度玉城町山村振興事業特別会計予算
- 第16 議案第31号 令和3年度玉城町農業集落排水事業特別会計予算
- 第17 議案第32号 令和3年度玉城町介護保険特別会計予算
- 第18 議案第33号 令和3年度玉城町後期高齢者医療特別会計予算
- 第19 議案第34号 令和3年度玉城町病院事業会計予算
- 第20 議案第35号 令和3年度玉城町水道事業会計予算
- 第21 議案第36号 令和3年度玉城町介護老人保健施設事業会計予算
- 第22 議案第37号 令和3年度玉城町下水道事業会計予算
- 第23 議案第38号 令和3年度玉城町一般会計補正予算（第1号）

開会の宣告

（午前9時45分 開会）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、ただいまより予算決算常任委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員数は12名で、定足数に達しておりますので、予算決算常任委員会を開会します。

本委員会に町長、副町長、教育長、その他関係職員の出席を頂いております。

なお、オブザーバーとして山口議長に出席を頂いておりますので、ご了承願います。

町長の挨拶

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 開会に当たり、町長、挨拶をお願いします。
町長、辻村修一君。

○町長（辻村 修一） 予算決算常任委員会に付託をいただきました令和2年度各会計の補正予算及び令和3年度の各会計の当初予算、補正予算についてご審査を賜ります。何とぞよろしくをお願いします。

会議録署名委員の指名

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 初めに、会議録署名委員の指名をします。
渡邊昌行委員、谷口和也委員、以上の2名の方をお願いします。

審査の順序

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 審査の順序としまして、先に補正予算の審査を行い、その後当初予算の審査を行います。

なお、審査に際しましては、あらかじめ審査手順書を配付しましたので、それに従い行います。

また、ソーシャルディスタンス確保のため、一般会計につきましては、所管課を分けての審議になりますので、併せてご了承願います。

予算関係ですので、しっかり委員の方々は質問をしてください。

日程第1 議案第16号 令和2（2020）年度玉城町一般会計補正予算（第10号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、議事に入ります。

初めに、議案第16号 令和2年度玉城町一般会計補正予算（第10号）を議題にします。

これから歳入についての質疑を行います。質疑の範囲は13ページ、1款町税から25ページ、23款町債までの見開き2ページごとに質疑を行います。

それでは、13ページ、1款町税について発言を許します。

ありませんか。

北委員。

○委員（北 守） 北。

町税の固定資産税の中で、説明では現年課税が償却資産4,200万円増加を、この時期にした。これは見込み増ということで説明があつたんですけども、全体的な1年間を見通しての見込み増なのか、何か特別に途中で入つたということで見込み増になつたのか、これ4,200万というのはかなり大きな数字ですので、それがお聞きしたいのと、それから固定資産の滞納整理繰越分、これが大口分があつたためというふうなことで、これも説明あつたんですけども、802万3,000円、これは減額になっております。いわゆる滞納繰越分が減るということですけども、この理由をちょっとお伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長補佐税務担当、梅前宏文君。

○税務住民課長補佐税務担当（梅前 宏文） 税務住民課長補佐税務担当、梅前。

ご質問のありました固定資産税の現年課税分の分なんですけれども、これは新型コロナ感染症の影響で、ちょっと徴収率のほうは、どのように推移するか、ちょっと見込めなかった部分がございます、それが12月が終わって、徴収率のほうも例年、ちょっと少ないぐらいになりましたので、今回、この見込みの徴収率を上げさせていただいて、このように補正をさせていただいたというふうな内容になります。

あと、固定資産税滞納繰越分の減の部分についてなんですけれども、令和2年の当初予算編成時に、昨年、欠損処分をいたしました大口の滞納案件がございます、現在はもう欠損させていただいておったんですけれども、それはまだ欠損前のちょっと数字が入っておって、それを減するのを、この時期になってしまったということがございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） 償却資産については、新型コロナの影響ということで、かなり落ち込むかなというふうな予想をおったんですけれども、12月になって、さほどというふうな判断で今回補正したと、こういう理解でよろしいですか。

（発言する者あり）

○委員（北 守） そういうことでよろしいですね。

それから、固定資産の滞納分については、ちょっとこれは、いわゆる大口分があったというのは、ちょっと説明ではない、ちょっとあれなんですけれども、予算組んだ段階では、これは考えてなかったと、こういうふうなことで理解させてもらってよろしいですか。

その後、変わってきたもので、こんだけ最終的に清算したと、こういうことで理解させてもらってよろしいですか。

（発言する者あり）

○委員（北 守） はい、分かりました。ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかに、ありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 奥川です。

先ほど、北委員さんも聞かれましたけれども、償却資産税というのは、一体、玉城町は4,200万円のうち、どういうものがウエートを占めておるのか、教えていただきたいと思えます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長補佐税務担当、梅前宏文君。

○税務住民課長補佐税務担当（梅前 宏文） 税務住民課長補佐税務担当、梅前。

償却資産は事業に係る資産税でございます、購入価格から原価率を差し引いた部分で、その部分が課税標準となりまして、それに1.4%を掛ける税になってくるんですけれども、例えば企業で言いますと、その製造ラインの機械類でありますとか、また附属する車両であるとか、倉庫の部分であるとか、そういった部分にかかってくる税でござ

います。

主な種類といたしましては、構築物、機械及び装置、船舶、航空機、車両及び運搬具、工具、器具及び備品というふうになっておるんですけども、玉城町の中では、大体構築物で15%ぐらい、機械及び装置のほうで65%ぐらいが占めておって、あと残りは、工具、器具及び備品類というふうになっております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 分かりました。一応、一般的な設備投資、その当時できるかできないかというふうなことで、結果的には設備投資があったんで、これぐらいの金額になったということだと思います。

あと、この町税のところなんですが、今年は比較的滞納繰越分、個人ですが、徴収率が高かったと思っていますが、何か特徴とか、何かがあつて、例年に比べて、多分200万ぐらい、300万ぐらいかな、多くなっておるんで、その辺についての結果といたしますか、どうだったんだということのを教えてください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長補佐税務担当、梅前宏文君。

○税務住民課長補佐税務担当（梅前 宏文） 税務住民課長補佐税務担当、梅前。

昨年度から、納期ごとの督促状を送らせていただいて、また年末には過年度分の催告を送らせていただいて、また年度末には現年分の催告を送らせていただいておりますというふうな状況になっておまして、そういったことの積み重ねで納付があるのかなというふうに思っています。

また、延滞金のほうも、その督促状を送らせていただいている関係上、きっちり取らせていただいておりますので、そういったことの住民の方の意識も相まって、徴収のほうがいいのかなというふうに考えております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 皆さんが、今までずっと課題になっておったんですが、徴収の取組の成果を出したということだと思いますので、ありがとうございました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

前川さおり委員。

○委員（前川 さおり） すみません、先ほどの説明でもう一度確認をさせていただきたいところがございます、ご説明いただきました償却資産の説明がコロナの影響で徴収分が見込めなかったということにつながるという点が、いまいち私理解ができていないので、もう一度ご答弁いただいでよろしいでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長補佐税務担当、梅前宏文君。

○税務住民課長補佐税務担当（梅前 宏文） 税務住民課長補佐税務担当、梅前。

当初、これまでは税収の全体、見込みを95%で、実は計算させていただいておったん

です。この補正で98%に上げさせていただいたんですけれども、大体、今現在、町の固定資産税、入ってくる税収というのは10億ぐらいあるんです。それから、大体1%すると1,000万になってくるんですけれども、その部分を95%から98%に、予定の徴収率のほうを上げさせていただいたということで、その税収が上がってくるというふうなことになるんですけれども、ちょっとなかなかご理解いただけないですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 前川さんどうですか。

○委員（前川 さおり） それでは、また後ほどご説明いただければと、直接伺わせていただきます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） この場で聞いてもらったらよろしい。後で、ここそと行ってもらわないでも。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長、田村優君。

○税務住民課長（田村 優） 税務住民課長、田村。

先ほど、補佐の梅前のほうから概略を説明させていただきましたけれども、そのほかに、コロナウイルスに関する分につきまして、令和2年度につきましては、徴収猶予という制度がございましたので、その分が頂けないかなということで、ちょっと減額してございましたので、その分も加味されておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 先ほど、固定資産税の税収で10億ぐらいあるということをお聞きしましたが、固定資産税で10億ぐらいですか、これ全部で。大体それぐらいか。

（発言する者あり）

○委員（奥川 直人） 固定資産税と言われたもので。

（「全体で」と呼ぶ声あり）

○委員（奥川 直人） 全体で。

ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川さん、よろしいか。

○委員（奥川 直人） 分かりました。ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、先へ行きます。

続いて、14ページ、1款町税から15ページ、15款使用料及び手数料について発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、16ページ、15款使用料及び手数料から17ページ、16款国庫支出金について発言を許します。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ありませんか。

続いて、18ページ、16款国庫支出金から19ページ、17款県支出金について発言を許します。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) ありませんか。

続いて、20ページ、17款県支出金から21ページ、19款寄附金について発言を許します。ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 続いて、22ページ、19款寄附金から23ページ、22款諸収入について発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) では、24ページ、22款諸収入から25ページ、23款町債について発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で、歳入を終わりました、次に歳出についての質疑を行います。

質疑は、項を基本として行います。

27ページ、2款総務費から67ページ、14款予備費及び9ページ、10ページの第2表繰越明許費補正、地方債補正についての質疑を行います。1款議会費及び2款総務費のうち6項監査委員費についての質疑は省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、2款総務費、1項総務管理費、27ページから32ページについて発言を許します。

山路委員。

○委員(山路 善己) 2款総務費、1項総務管理費、10目地方創生推進費、そして12節委託料、ページ数、31ページ下のほうです。一番下です。

この説明文、ちょっと長いので、頭だけ申し上げます。

関係人口創出、そして農産物の6次産業化、それから就労・社会参加促進に向けた、これ、それぞれどういう形で契約、例えば入札とか、特命とか、何とか、いろいろありますけれども、どういう形で入札されたんでしょうか。

なぜ、こういった質問かと言いますと、今年度の6月の定例会で玉城町一般会計補正予算(第1号)で計上されていて、この精査された金額が、それぞれ2万3,000円、3万5,000円、8万1,000円と、それぞれ予算が2,300万、2,000万、2,500万ですけれども、どんぴしゃりに上がってきておりますので、ちょっとこの契約の方法というか、こ

れをお聞きしたいんですが。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 総務政策課地域づくり推進室長、中川。
お尋ねをいただきましたこの3事業についての契約の方法でございますけれども、こちらにつきましては、いわゆるソフト事業ということになりまして、事業の内容でもって、事業者を決定するというやり方、つまりプロポーザルという方法で、企画、提案型の方法で事業者の選定を行っておるというところでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。

○委員（山路 善己） ほかの委託したのも幾つかありますけれども、それぞれ精算した結果、27万5,000円とか、6万6,000円、119万円とか、5,400万とか、ばらばらなんですけれども、かなり精算した結果、残りもあるんですけれども、これがどんぴしゃりになったんで、こんなにうまくいくものかなと、ふと思ったんですけれども、今の説明で間違いのないと思うんですけれども、それでよろしいんですね。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 総務政策課地域づくり推進室長、中川。
その予算に、非常に契約に近いというようなお話かなというふうに理解をさせていただきました。

こちらの件につきましては、先ほど企画、提案型プロポーザルでということ、内容を重視し、事業者選定をしたいというようなところで、公表するとき、予定額、つまり予算額を提示した形で、うちはこの金額で提案してほしい、この金額の範囲内で提案してほしいということで、その提案された事業者のほうは、この金額だったらうちはこのことできるよ、もっとこんなことできるよというようなことを提案いただいて、その提案内容が一番すぐれているところに決定をしていると、そういう性質上、金額としてはこのような形になっておるというところでございます。

以上でございます。

（「分かりました」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） すみません、続けて、その同じところでありましてけれども、この3つの大きな事業で、これはまた令和3年も継続して続いてきますけれども、この6月からそういうものが委託されて、結果としてどういうふうな形に、今把握されておるのか。

金額がでかいんで、我々もどこまで、何を進んでいるんだろうと、これがなかなかつかめないんで、できればこの場で説明いただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 総務政策課地域づくり推進室長、中川。
今ほど、その3事業についての効果というようなお尋ねをいただいたところでござい

ますが、これは1つずつ、3つ、お返事させていただくような形でよろしいでしょうか。
(「はい」と呼ぶ声あり)

○総務政策課地域づくり推進室長(中川 泰成) まず、1つ目の関係人口という部分につきましては、こちら楽天さんと契約をさせていただいておる内容でございます。

こちらにつきましては、関係人口、今年度、裾野を広げる、見つけるというようなところを目標としておりまして、主にふるさと納税のほうで寄附を頂く方、これを増やしていきたいと思いますというような流れで事業を実施させていただいておりまして、ふるさと納税につきましては、プラスの結果が出ておるところでございます。

また、その関係人口の方々を増やしていくという意味で、例えば玉城町さんのものを使ったレシピを開発してみたりとか、それから周知のPRグッズみたいなものを作るといことで事業を実施させていただいたところでございます。

それから、2つ目の農産物ということに関しましては、こちらにつきましては、実は産業振興課が所管をいたして事業を実施しておりますけれども、こちらに書いておりますように、地域商社というものの設立に向けて、今、準備を進めておって、こちらについて、その商社が出来上がるというふうなところが今年度であるというところでございます。

それから、3つ目、ちょっとすみません、省略をさせていただいて申し上げます。就労・社会参加についてでございますけれども、こちらについては、リクルートさんと、今契約をさせていただいておるところでございますが、こちらについては、そのお仕事をマッチングさせていく、仕事を切り分けていくであったりとか、その企業さんにそういったことをお願いするというような基礎調査というのが今年度の大きな事業になっておりまして、こちらについても、その調査をし、小さなお仕事マッチングできるような下準備が今年度で整うというところになります。

以上でございます。

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 奥川委員。

○委員(奥川 直人) ふるさと納税の寄附を増やすと、これは成果が出ていると、また後で詳しくお聞きしますけれども、あとレシピ開発とか、PRグッズというのができているのか、できていないのかということも気になるところです。

それと、商社を作るというふうな形でお話がありましたけれども、どういう形で今進んでいるのかなというのがないと、また来年も、これ同じぐらいの金額を使うわけですから、その商社ができたものが、いかに玉城町にどういった形で貢献されるんやろうというふうな基本的なことを聞いておるんですけれども、そういうものはしっかりされているんだろうなと思います。

就労の社会参加という形で、仕事を選ぶとか、企業にお願いするとかいうふうにしてはいますけれども、これも非常に難しい話なんで、他力本願といいますか、企業さんあつてのことなんやけれども、そういったつながりをどう持っていくのかなというふうなこ

とが、その事業のトータルで6,500万ぐらいの事業をするのに、どこへどう行くのかなということ、もう少し詳しく、この場でなくてもいいんやけれども、またこれは議会懇談会か、何かの場で一度進捗を聞かないとさっぱり分からんというたら我々も申し訳ないんやけれども、非常に委託先がやっっていくことだし、それで昨日も申しましたように、各担当課長とも連携も取っていかんなあかんということで、うまくいくのかなという心配はしていますんで、これは今日は答えはこれぐらいでいいと思いますけれども、何か違った場で、これについてはご説明いただきたいと、このように思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

こちらの3事業、特に2番目の農産物に関しましては、産業振興課とも、その事業について別の機会を取りたいというふうなお話も聞いておりますので、そちらで、また機会のときにお話しをさせていただくということでございます。

それから、その事業全体に関しましては、どちらかという国地域再生計画というような、国の認定を頂戴しておりまして、そこに、この3年間で取り組むというところが記載をされているところもございますので、またその必要に応じてご説明させていただきたいというふうに思います。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） じゃ、すみません、ちょっと戻りますけれども、総務管理費の財産管理費で29ページになります。

ここで、節10の需用費で、私ちょっとよく分からなかったんですが、財産管理費という形で、燃料費が99万あったものが、58万になったというふうになっています。

この燃料費は一体何なんかなと、ちょっと教えていただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ちょっとお待ちください。

先ほど奥川委員が言われたのは、産業振興課に係るやつは、ここには出席しておりませんので、後ほど産業振興課のところ、もしお尋ねいただくんやったら、その際にしてください。

○委員（奥川 直人） 分かりました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課長、中西元君。

○総務政策課長（中西 元） 総務政策課長、中西。

お尋ねの燃料費のことです。

これにつきましては、役場で使用いたします公用車のガソリン代、またそれぞれの給湯室で使いますガス代というようなことで、今回整理をしておること、これにつきましては、実績に基づいて精査をいたしておることですので、ご理解賜りたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） じゃ、すみません、同じですけども、今回は、そうすると燃料があまり使わなかったということでもいいんですか、例年に比べて。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課長、中西元君。

○総務政策課長（中西 元） 総務政策課長、中西。

やはりコロナ禍ということもございます。出張も控えるようにいたしておりますし、リモートで会議をしておるといような状況が続きましたので、ガソリンの使用が少なくなりました。しかし、町内へ移動する部分につきましては、当然公用車で移動いたしますので、そのような経費は処理をしておるといところでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） はい。

○委員（奥川 直人） ありがとうございます。

じゃ、次に行きます。

企画費のところになりますけれども、18節負担金補助及び交付金のところですが、ふるさと納税南部まるごと発信事業負担金、これがゼロになったということで、もともと40万持っておって、ずっと継続して来ていますけれども、今回ゼロになったんで、もうこれはやめるんかというふうな気がしていますんで、その辺のお考えをお聞きしたいのと、その下もついでに聞きます。

協働まちづくり事業交付金があります。これは、今年、予算で65万という形で、一昨年の約40万ぐらい増額したものを、もともと去年の実績が25万で、今年、予算で65万を積んだ。しかしながら、結果として25万円やったということになりますんで、この辺のいきさつについてお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

お尋ねのそのふるさと納税南部まるごと発信事業負担金につきましては、大変申し訳ございません、所管、産業振興課ということでございまして、そちらで再度お願いしてもよろしかったでしょうか。失礼いたします。

それから、下の協働まちづくり事業交付金についてでございますけれども、こちらについての経過というふうなお話であったかなと思っております。

この交付金につきましては、今年度、やはりすみません、コロナ禍の影響もありまして、その活動というのがなかなか活発にいただけなかったのかなというようにもございまして、今回減額の補正をいたすというものでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そういう意味じゃないんですよ。

もともと去年の実績が25万で、今年当初で65万に上げたわけですよ。ということは、何かしようと思って上げたんですが、結局できなかった。できなかったんはコロナやと。コロナでできなかったと。でも、なぜ上げたんやというのを聞いています、予算

のときに。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 当初で、去年より大きかった点ということでもあります。

これについては、相談を受けておる自治会が、あらかじめあったというふうなところで、当初についてはその分も含めて計上させてもらって、ただすみません、結果として、このような結果となったということでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 集落との、これについてどんな関係で、各集落に、そういうのを求めているわけか。何かしませんかとか、こんな補助金ありますけれどもとか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） こちらにつきましては、その自治会というよりは、各種団体であったり、自治会も当然その団体というか、グループに入るわけですが、そちらからご申請をいただいて、こういう事業をしたいんですけど、自治会独自、グループ独自の活動をしたいんだということでご申請をいただいて、それを判断し、交付をさせていただくという事業でございます。それをやる際に、ご相談をいただいておりますと、その分も当然1年度の予算に含めて予算を要求させていただくというふうなことでしておりますので、結果、減額になったというところがございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 協働まちづくり事業交付金が、各自治会にも、各団体にもこんなんありますよというのは、私もちょっと認識不足で悪いんですけども、周知されておるのか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） こちらにつきましては、一般的には広報で周知をさせていただいておりますし、自治区に個別にこういう事業がありますよということではございません。

区以外にも、いろんな各種団体がございますので、そういうお話があったり、そういう団体がありますと、お声がけをさせていただいて、こんな事業がありますよというふうな方法で周知をさせていただいております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） それやったら、周知できているようでできてないや。皆さんはできておると思うておるけれども、みんなそういう団体とか、こんなんあるんやというこ

とを知らないで申請できないので、それは主には、昨日いろいろ話してもらった集落へこんなあるよとか、頑張ってくださいねとか、団体にも、これはみんなに周知していかんなあかんのんと違うのか。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 田間副町長、ちょっと補足していただけませんか。副町長、田間宏紀君。

○**副町長（田間 宏紀）** ちょっと私のほうで補足をさせていただきたいと思います。

実は、この協働のまちづくり事業というのは、私が総務課長時代に創設させていただいたものでございます。

過去にも、年度、2回か3回か、ずっと、これが昨日も協働のまちづくりの一般質問があったかと思えます。やはり、住民の方々がいかにまちづくりの中に参画をいただくかというふうなことを基本にいたしておるところでございます。

この住民参画協働のまちというのは、昨日もあったので省略をさせていただきますけれども、これをこのような形で周知をさせていただくという方法ですけれども、これにつきましては、区長会の中でも、区長さんの皆さん方にも、そういう案内もさせていただいておりますし、また各種団体、これは地域づくり、福祉の団体も含めて、そういうふうな団体の方々の中には、そういうようないろんな相談がございます。そういうふうなときにもお話しをさせていただいて、じゃ、こういうことはどうですかとか、そういうふうな形でさせていただいておるといようなことでございます。

以上です。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 奥川委員。

○**委員（奥川 直人）** 分かりました。これから、協働のまちをつくる意味では、ちょっとしっかりもう少し周知をしていただければいいようにお願いしたいと思います。

次、すみません、地域情報化推進費のところですよ。8目です。

これはペーパーレスとか、オンライン会議とか、いろんな形の取組が、これはたぶん6月ぐらいに補正されて、地域未来構想という形でやる事業ですが、ほとんどこれはされていない結果になっています。

進んでいない、予算が使われていない、それと関係して、この備品購入もそれに関連するのかなど、これも630万ぐらい減額になっておるので、この事業が進んでいるのか進んでいないのか、予算が執行されていないということがありますので、それとこの備品の関係も含めて、現状についてお聞きをしたいと思います。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○**総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成）** 地域づくり推進室長、中川。

こちら地域情報化推進費でございます。

こちら、提案理由でも少しお話しがあったかと思えますが、この事業、3年度へ繰り越すということが難しいということで、一度、2年度で整理をして減額をし、3年度の今回1号補正でも改めて計上させていただいておるところでございます。

そのペーパーレスに関しましては、なかなか非常に国のガイドラインの提示が非常に遅れてくる中で、どうセキュリティーを保って、どういうふうに運用していくんだというのが非常に時間がかかっておるといふ現状でございまして、このリモートアクセス構築業務、こちらについて、要はそのペーパーレスにいく手前の環境整備をしっかりとしようというところで、今年度おさめたいというところでございます。

よって、このペーパーレス会議システムに関しましては、令和3年度で実施をしたいということで、今回減額をさせていただいたというところでございます。

また、併せて備品購入のお尋ねもいただいたかと思っております。

こちらは、備品購入、つまりタブレットの購入でございまして、こちらGIGAスクール構想の影響もありまして、納入時期について、非常に厳しいところもあった、その中で、まず先に必要であったのがオンライン会議、これをするためのパソコン、タブレットがどうしても必要になっていまして、まず一番最初に20台購入をさせていただきました。それから、今ほど申し上げた物品調達の都合もございまして、庁舎内の係長以上に整備をしようということで33台購入をさせていただいております。それから、もう一つは、その次の段階で間に合うので一般職についても購入しようということで合計83台購入をさせていただいたところでございます。

次年度につきましては、このペーパーレス会議システムと併せまして、議員さん方、それからまた他の会議用、またその避難所用であったりですとか、その不足する部分について整備をいたしたいということで、今回635万9,000円減額いたしまして、改めて令和3年度で計上をさせていただくというものでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 分かりました。

あと、このセキュリティーの関係で、国の指針といいますか、そういうものがあったということでありまして、この辺は全国的な統一をしていくのか、各市町でその辺を研究、開発していくのか、どちらの方向で行かれるのですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

こちらのセキュリティーに関しましては、今もう既に各市町ごとで進んでおるところもありまして、例えば私ども玉城町でありますと、インターネットとは全く物理分離というようなやり方、これでこれまで進んでまいりました。ですから、パソコンが全く異なるというやり方でございます。

これは、国が推奨するやり方ということで、この方式を取ってきたわけですが、国も完全分離ではどうしてもやっつけいけないよと、リモートワークをしようと思うと、そういうやり方では全く無理だということで、新たに12月でしたか、そのβモデルとかというのを発表されて、当然完全分離が望ましいんだけど、こういう仮想のやり方

でもいけるんじゃないかというようなことで、今発表されておるところでございますので、もう既に仮想のやり方で進んでおるところについては、さらにそれを取り入れてやっていくとか、あくまで国のガイドラインを踏まえた上で、町のやり方も少し見直しをかけていかなければいけないということなので、基本的にはこれは単独でやるということになるのかなと。

ただ、その近隣であったり、その電算会社が当然そこにはありますので、そのちょっとやり方といいですか、ベストな方法を見つけて導入にしていきたいなというふうに思っております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） かなりハイレベルな知識なりが要るのかなと思いますんで、職員の中でもそういうことが分かるようなことも含めて、今後お願いしたいと思います。

今のところ、私、以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

中西委員。

○委員（中西 友子） 中西です。

31ページの10目の地方創生推進費の中の1の報酬のところなんですけれども、会計年度任用職員の報酬、65万9,000円、これ地域おこし協力隊と、もう一つの関係のものがあると思うんですけれども、合算されているので、どちらがどれだけ減額されているか分からないので、説明をお願いします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

こちらおっしゃいますように、地域おこし協力隊と、それから就学支援員、こちらの予算でございます。

こちらは大変申し訳ない。産業振興課のほうで所管をいたして、もし内訳、後刻ということであれば、すぐ分かると思いますので報告させていただきますが、そういったことでご容赦いただきたいと思います。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにありませんか。

それでは次に、2項徴税費、33ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ないようですので、次、3項戸籍住民基本台帳費、33ページから34ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、4項選挙費、34ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、5項統計調査費、35ページについて発言を許します。

ありませんか。

中西委員。

○委員（中西 友子） 中西です。

1目の統計調査総務費の10目の需用費の中で、補正予算にしては珍しく消耗品費と印刷製本費が増額で計上されているので、そこの説明をお願いします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

こちらの統計調査費に関しましては、主に国勢調査の精算によるものということでございます。

当初は、国・県から示された予算枠で予算要求をさせていただいて、その事業の進捗を見まして、それで合わせて補正をお願いし、今回、結果といたしまして、消耗品のほうがプラスになっておりますけれども、こちらのほうで予算枠いっぱい執行させていただきたいということで3月補正をさせてもらったものでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかはございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは次に、3款民生費、1項社会福祉費、36ページから40ページについて発言を許します。

小林委員。

○委員（小林 豊） 社会総務費の繰出金、介護保険給付費繰出金が1,290万6,000円減額になっておるわけなんですけど、このまず理由についてお尋ねしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

今回、介護保険給付費の繰出金の減額につきましては、介護保険特別会計のほうで補正を行っておりますので、今年度の介護のサービス費の減額見込みによるものでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 小林委員。

○委員（小林 豊） そうすると、サービス費の減額見込みということは、それだけサービスを受ける方が少なかったということによろしいんでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

今年度の介護保険事業計画の計画値より、実績が下回る見込みになるということでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 奥川です。

38ページになりますけれども、7目の心身障害者福祉費です。19節の扶助費の中で、今回障害者の介護給付費と障害児の通所給付費につきましては大変増額になっていますが、今、玉城町のそういう障害者の状況について、どういう状況なのかお聞きをして、その結果、こういうふうになったというふうな説明をいただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 障害者の介護給費と障害児の通所給付費の傾向でございます。

毎年、やはり少しずつ伸びていっている状況が見受けられます。また、障害児の通所給付費につきましては、大人の障害者の介護給付費よりも、より多く伸びが見受けられる現状がございます。

人数としましても、そんなに大人に関しましては人数としては、それほどは伸びてはいないんですけれども、利用するサービスが増えてきているというような、種類が増えてきたりとか、そういった傾向があるのかなというふうに感じます。

児童につきましては、対象人数も増えてきておる状況でございます。特に、発達支援ですとか、そういった部分で就学前のお子様も、かなりサービスを使うというような傾向が見受けられるというところでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そうですね、人数が増えているのか、また障害の度合いが出ているのかというふうなお聞きしたかったんですが、いろんなサービスが、これは結構、数的には依然に比べると増えてきているんですか。それが、この予算に出てきているのかと、お聞きします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） サービスの種類に関しては、今新しくできてきたものというのは、児童に関して、保育所訪問ですとか、ちょっと新たなサービスが出てきてはいるんですが、大人のサービスに関しては、従来からあまり変更はございません。

児童に関しては、新しいサービスというのも、制度が変わりまして出てきてはいるんですけれども、新しい部分に関しては、まだご利用のほうは、さほどないというふうに感じております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） ということは、サービスについては、そう大きな変化はないんだ

けれども、予算が膨れているというふうに、僕聞いているわけや。どうなんかと、サービスが数、種類が変わらないんやったら、あまりこんな金額も変わらないん違うのかなというのが一般的な考えですけども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 暫時休憩します。

（午前10時33分 休憩）

（午前10時35分 再開）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

障害者の大人の方のサービスにつきましては、計画相談といいまして、そのサービスをコーディネートするケアマネジャーさんのような方がいらっしゃるんですけども、そちらのほうから、家族やご本人様と相談して、サービスの決定をしておるというのが現状です。

お子様につきましても、同じように計画相談員が必要なサービスを提供するということと、やはりより手厚くサービスをするというような傾向となっておりますので、そのこともありまして、サービスのご利用が増えてきている傾向にあるんだというふうに感じております。

また、お子様に関しましては、特に放課後デイサービスであったり、発達支援であったりといったようなサービスを、子供の健診のときから気になるお子さんをフォローしている中で、よりそういうサービスを求める保護者の方も多くなってきております。そういったことで、サービスのほうが伸びてきているのかなというふうに思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

それでは次に、2項児童福祉費、40ページから42ページについて発言を許します。

北委員。

○委員（北 守） 41ページの児童福祉施設費の中で、1報酬、会計年度任用職員の減額、1,200万余りされています。

これについて、以前も聞いたことがあるんですけども、保育所の場合は、当初に最大限人数を盛るということで、待機児童をなくすために、途中で採用ということも聞いておりましたんで、これについて、今回はコロナの影響があったのかどうかということとか、その要因というのは、どのようになっておるのかということ、ちょっとお伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課長、中西元君。

○総務政策課長（中西 元） 総務政策課長、中西。

会計年度任用職員の報酬ということですので、私のほうから説明を申し上げます。

これにつきましては、保育士に係る報酬になるわけですが、当初、この会計年度任用職員制度といいますのが、この2年度4月からスタートいたしております。

その際で、玉城町の場合、35時間の職員、また20時間未満の職員というようなことで

準備をいたしておるわけですが、考案的には、35時間で雇用いたしたいということもございましたが、なかなか勤めていただく方、20時間未満でいいというようなことで、予定どおり予算の計上どおりの雇用ができていなかった。この35時間の方の分としまして、20時間の方、この方について人数を増やして現在対応をしておるといようなことでございますが、結果的にはこのような減額が生じたといようなことでご理解賜りたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） 令和3年度も、そういうふうな傾向で、2年度に初めて会計年度任用職員の報酬を上げていただいたということですので、令和3年度については、そういう20時間勤務の方と35時間勤務の方というのは、そう差異はないということで、今、もう一つお聞きしたいんやけれども、コロナ関係とかという、そういうふうな意味は全くないということではよろしいでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課長、中西元君。

○総務政策課長（中西 元） 総務政策課長、中西。

お尋ねのコロナの関係でこういう事態になったのかということにつきましては、コロナの関係ということではございません。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

谷口委員。

○委員（谷口 和也） 今の会計年度任用職員の件ですけれども、これはたぶん12月の補正でも2,660万という減額がありました。

そのときは、職員の方が、たしか退職されたという話を聞いたんですけれども、この1,257万の減額というのは、その退職というベースではないと。今、課長の言われたように、20時間と33時間の差で、この金額が出てきたという理解でよろしいですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課長、中西元君。

○総務政策課長（中西 元） 総務政策課長、中西。

今、お尋ねの退職があったのかということにつきましては、退職というのはございませんでした。

それと12月に整理をしたといいますのは、12月時点で、この費用については執行する見込みがないものについては、その時点で減額をいたしておると。しかしながら、当然3月までお勤めいただくことになりますので、その予算については残した。しかし、今回の最終の整理で、これだけの不用額が生じるというような判断で減額させてもらっています。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

じゃ、次に行きます。

次に、4款衛生費、1項保健衛生費、42ページから45ページについて発言を許します。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 45ページになりますが、環境衛生費で10節になります。消耗品費が減額になったんですが、もともとの予算は949万4,000円あって、38万1,000円が減額になった。いわゆるほぼ911万3,000円のごみ袋代を使ったということになります。

これは、前回、私も一般質問か、何かでやらせてもらったんですが、たぶん令和2年は非常に在庫が多い、ほぼ1年分あるというふうなことでした。

この執行されるのは、ちょっとおかしいんじゃないかなと、私は疑問を思いましたんで、その条件、どういう状況だったのかをお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長、山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 生活環境室長、山口。

前回、6月でしたか、在庫のお話しもさせていただいた中で、今回、当初、まずごみ袋、3種類ございまして、可燃物の大が75万枚、可燃物の小が14万枚、その他プラスチックを6万枚の予算で、ごみ袋の予算としましては約830万、当初予算のうち830万ほどの計上をしておりました。

それを在庫の調整をさせていただいて、9月の時点の在庫納入を終えた時点で、在庫の確認をして発注状況を定めました。

まず、大のほうは75万枚の部分50万枚、小の部分14万枚の予算に対しまして5万枚、その他プラスチック6万枚を未発注というような形で精査をさせていただきまして、この発注によりまして、約460万の減という部分が出てきてまいります。

ただ、その部分につきまして、今回リサイクルステーション内にあるエコパック、ペットボトルを入れたり、その他プラスチックを入れたりする容器がございます。あれが平成13年のリサイクル法施行に伴って購入をしておりまして、約20年間使用しております。ですので、もうご存じの方も多いかと思うんですけども、袋が真っ黒になっておったり、横のほうは朽ちて、なかなか立たないような状況、それを修繕をかけてしておりました。ですんで、今年度、当初も10個程度の購入を予定しておったんですけども、更新をかけていかんと、そろそろ一気にくるぞという中で、更新計画を立てました。更新計画を立てた中で、今回購入を、約430万の部分の充てることによって、全て更新可能というような判断ができましたんで、今回減額になる部分につきましては、エコパックのほうで対応させていただいたというようなことで、今回の減額が50万程度になる理由というには、そういった理由によるものでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 僕は、単なるごみ袋だけかなと思っていたんですが、そういうことで約400万ぐらい、違った形でエコパックを買ったという。

前回も、これはお願いをしたんですが、今回、もう発注されたかどうか知りませんが、発注するときの入札なり、発注する条件、これは統一をしてもらわないと、今、1社か、2社か分かりませんよ、入札は形式になっている可能性があるというふうに、

前回指摘させていただいたんですけども、今回は正式な入札で、何社入ってもらったんかお聞きします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長、山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 生活環境室長、山口。

3社で見積り合わせによって実施させていただいております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、質疑の途中ですが、コロナ対応のため、15分程度休憩しまして、11時より再開いたします。

（午前10時45分 休憩）

（午前11時00分 再開）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、そろいましたので、再開をいたします。休憩前に引き続きまして、2項清掃費、45ページから46ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、9款消防費、1項消防費、55ページから56ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。

次に、11款ないし14款、66ページから67ページ及び9ページ、10ページ、第2表繰越明許費補正、第3表地方債補正について発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） なければ、ここまでの総括質疑を行います。

ありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） すみません、総括ということで、補正予算全体ですけども、何か、今回訂正が多かったんでありますけれども、全体ということで時間を頂きましたんで、最近珍しくそういった手違いがあつて、間違いがあつたと。4件ほどあつたんですけども、これについては、副町長なり、町長はご認識されておるんですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 副町長、田間宏紀君。

○副町長（田間 宏紀） ご認識というようなことでございますので、認識はいたしております。

これにつきましては、また課長会等の中でも反省材料として、間違いのないようにチェック機能をしっかりと働かしたいというふうに考えております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。
それでは、参与交代のため、暫時休憩をいたします。

（午前11時00分 休憩）

（午前11時05分 再開）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、再開します。
所管課が変わりましたので、歳入から質疑を行います。

それでは、16ページ、15款使用料及び手数料から17ページ、16款国庫支出金について
発言を許します。ありませんか。

（発言する者あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課のやつか。
（発言する者あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 冒頭に言えということか。その項へ行ってからと
思ったんやけれども、今か。

（発言する者あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 本人にはそのように、課長にはちょっと話はして
ありますけれども。

産業振興課長、里中和樹君、前段のところ、ご承知やと思いますけれども、そのと
ころ答弁をお願いします。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

まず、地方創生の6次産業化の件につきましては、また改めて当初予算もござい
ますもんで、別で結果報告会というのをさせていただきたいと思っていますもんで、この場
の答弁はお願いしたいなと思います。

まず、もう1点が、ふるさと納税の南部まるごと発信事業のほうにつきましては、平
成27年から南部地区13市町で、ふるさと納税に着目して、南部地域一体をとって、広
く情報発信をして、地域のファンつくっていくということやったんですが、今年は、み
なさんそれぞれがということになりましたもんで、解散という形になって、事業は実施
してございません。

もう1点が、31ページ、会計年度任用職員のところであったと思いますが、こちらに
つきましては、65万9,000円の減額です。集落支援員と地域おこし協力隊の人件費を予
算計上させていただいておったんですが、集落支援員については、採用月日の現状もあ
りまして1か月の減、協力隊につきましては、募集はかけておったんですが、3か月分
の給料としてトータル65万9,000円の減額をさせてもらっております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員、よろしいですか。

○委員（奥川 直人） 分かりました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、また戻りますけれども、16ページの項、
質問ございませんか。

小林委員。

○委員（小林 豊） 住宅使用料なんですけれども、たしか提案説明の中で、使用料の改正があったというふうに聞いたかと思うんですが、間違えたら訂正をしてほしいんですけれども、それで減額になったというふうに聞いたんですけれども、どうやったんですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長、中村元紀君。

○建設課長（中村 元紀） 建設課長、中村。

使用料の改正というんですか、前年度の収入に基づきまして、当初予算の段階では見込みでさせていただいています。

それで、所得の申告が出て、それで料金については見直しをかけさせていただくということでの料金改定はございますけれども、特段の制度改正とか、そういうものはございません。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 小林委員。

○委員（小林 豊） そうすると、当初の見込みというよりか、所得が少なかったもので、これだけの減が出てきたというような、それだけと違うかも分かりませんが、そういう解釈でよろしいですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長、中村元紀君。

○建設課長（中村 元紀） 建設課長、中村。

今回の減額の主な部分ですけれども、城東団地のほうでございますけれども、募集をかけても埋まらないというふうな状況も今年度あたり出ていてございますので、空き家の部分も出てきておるといのもご理解いただきたいと思います。

その部分も含めての減額ということでご理解いただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

続いて、18ページ、16款国庫支出金から19ページ、17款県支出金について発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 続いて、20ページ、17款県支出金から21ページ、19款寄附金について発言を許します。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 続いて、22ページ、19款寄附金から23ページ、22款諸収入について発言を許します。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 続いて、24ページ、22款諸収入から25ページ、23

款町債について発言を許します。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○**予算決算常任委員長 (坪井 信義)** 以上で、歳入を終わりました、次に歳出についての質疑を行います。

質疑は、項を基本として行います。

6款農林水産費、1項農業費、46ページから48ページについて発言を許します。

山路委員。

○**委員 (山路 善己)** 3目農業振興費の中で、18節負担金補助及び交付金、その中の真ん中辺に、病害虫防除対策事業補助金、これ、ジャンボタニシのあれも入っているんですか。これ、利用者はどれぐらいありましたか。

○**予算決算常任委員長 (坪井 信義)** 産業振興課長、里中和樹君。

○**産業振興課長 (里中 和樹)** 産業振興課長、里中。

ジャンボタニシの駆除に係る費用等なんですが、実績としては1件だけでして、啓発等は大分進めたんですが、申し訳ございません、引き続き来年度の予算につきましても、啓発していきたいと思っております。

以上です。

○**予算決算常任委員長 (坪井 信義)** 山路委員。

○**委員 (山路 善己)** 確かに文書でちゃんといただいております。

今年寒かったので、たぶん今度はある程度緩和されると思います。

ありがとうございます。

○**予算決算常任委員長 (坪井 信義)** ほかございませんか。

津田委員。

○**委員 (津田 久美子)** 6款農林水産費、1項農業費、4目畜産振興費の18節負担金補助及び交付金の畜産環境衛生事業補助金が75万円減額になっております。

これは、当初予算の際に臭い対策が主なものであるというふうに伺いました。これが減額されたのは、例えばあまり効果がなかったとか、使用する事業者さんがいなかったとかという理由があるのでしょうか。

ちょっと一般の考え方からいくと、今回コロナで換気をするために窓を開けるといったような家庭、事業者さんも多かったとみられますので、この辺のところのご説明をお聞きしたいと思います。

○**予算決算常任委員長 (坪井 信義)** 産業振興課長、里中和樹君。

○**産業振興課長 (里中 和樹)** 産業振興課長、里中。

委員仰せのように、実際は私どものほうに補助金の申請はなかったんです。実際、私らのほうとして、今年に入ってから、朝から、その原のほうのアスピーアに行く業務がありますもので、その際には、毎回この前をちょっと通りながら、臭いの確認をしながら

回ってはおったんですが、ちょっと私も気候的なことがあるんか分かりませんが、実際に激しい臭いというのは、その中ではなかったんですけども、それも踏まえて、今回補助金の申請がなかったことによるものでございます。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 津田委員。

○委員（津田 久美子） これは、また補助金としては残っていくか。

（「継続はさせてもらって」と呼ぶ声あり）

○委員（津田 久美子） はい、ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 奥川です。

農業振興費の18節です。

農地中間管理機構への協力金ですが、今回は少し高いなど。従来よりも300万ほど高くなっているのは、これはなぜかと。

それと、農業集落育成交付金、これもすごく増えていますので、この辺の具体的な、なぜこうなったのかということをお聞かせください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

奥川委員仰せのように、今年かなり額が多くなっております。

実際には、今年7つの地区におきまして、人・農地プランの作成がされております。さらに、農地中間管理機構のご利用もございまして、それに伴って補助金のほうを計算させてもらっておるものですから、今回、このたび補正をさせてもらっておる内容になっております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そうしますと、人・農地プランと、農地中間管理機構の協力金というのは結びついておるとのことなんですか。

（発言する者あり）

○委員（奥川 直人） 分かりました。ありがとう。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、2項林業費、48ページから49ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、7項商工費、1項商工費、49ページから50ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、8項土木費、1項土木管理費、51ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、次に2項道路橋梁費、51ページから52ページについて発言を許します。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、3項河川費、53ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、4項都市計画費、53ページから54ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、5項住宅費、54ページから55ページについて発言を許します。

前川委員。

○委員(前川 さおり) 前川です。

5項住宅費、2目住宅対策費、18節負担金補助及び交付金の中で、精査によるとご説明いただいたかもしれないんですが、ブロック塀除去工事補助金が減額補正となっています。

町を見てみると、まだまだ危ない塀が見かけられると思うのですが、ちょっと周知が足りないのかと思うんですが、この原因を教えてくださいよろしいでしょうか。

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当(松田 臣二) 建設課長補佐都市計画担当、松田。

ブロック塀の除却の工事補助金ということで減額補正をさせていただいたところではありますが、周知につきましては、広報誌並びにホームページのほうで周知をさせていただいておるところでございます。

それから、今年度減額ということではございますが、実績のほうでございまして、4件の申請があったところでありまして。

以上になります。

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 前川委員。

○委員(前川 さおり) 来年度も予算が計上されていらっしゃると思います。もう少し、

恐らくちょっとこういう補助金があるということが、住民の皆様の頭の中から少しちょっと消えているのではないかと、私、ちょっと話しをさせていただいて思っておりますので、媒体等にこだわらず、幅広く周知していただきたく思いますので、よろしくをお願いします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 同じところですか。ブロック塀の撤去工事補助金ですけれども、東日本大震災から10年ということで、非常に大きな揺れというのが予想される中で、前にも申し上げましたが、普及については、教育委員会も含めて、通学路とか、どこを中心的にやっていくんかということも、やっぱりこれは町民の安全を守るということで、それはちょっと少し協力しながら、せっかくなつくってもらった補助金ですので、普及する方法について、もし今後、先ほどお話いただきましたけれども、もう少し幅広く考えていただきたいと思うので、何かご意見だけいただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当（松田 臣二） 建設課長補佐都市計画担当、松田。

奥川委員仰せの広報の周知等にありますが、今後も広報誌並びに、あとはケーブルテレビであるとか、何かイベント等がありましたら、そういうところでも周知を図っていききたいと、そのように思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 教育委員会とか、協力しながらやったらどうですかと、私は言うたわけ。周知は当然してもらわんなあかんねんけれども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 教育委員会事務局長、中西豊君。

○教育委員会事務局長（中西 豊） 教育委員会事務局長、中西です。

通学路の点検も学校のほうで、毎年PTAのほうで夏場を実施しております。その中で、いろいろ危険箇所の改修要望が上がってくるわけなんですけれども、今のところ、ブロック塀というのは見た記憶がございませんけれども、そういうのを周知しながら、こういう補助もあるから、お話を頂ければ、その方に話をするよというような話をしながら撤去してもらおうように、PTAのほうには依頼するようにいたします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、10款教育費、1項教育総務費、57ページから58ページについて発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、2項小学校費、58ページから60ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、3項中学校費、60ページから62ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、4項社会教育費、62ページから65ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、5項保健体育費、65ページから66ページについて発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、11款ないし14款、66ページから67ページ及び9ページ、10ページ、第2表繰越明許費補正、第3表地方債補正について発言を許します。

ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) ここで総括的な質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で討論を終わります。

これから議案第16号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第16号 令和2年度玉城町一般会計補正予算(第10号)は原案のとおり可決されました。

ここで参与交代のため、暫時休憩します。

(午前11時20分 休憩)

(午前11時23分 再開)

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは再開いたします。

日程第2 議案第17号 令和2年度玉城町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） これから、特別会計、企業会計を対象に審査をいたします。

これからの審査は、歳入歳出全般を対象とします。

まず、議案第17号 令和2年度玉城町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 歳出ですが、一般管理費の委託料で、電算委託料が1,900万ほど減額されたということで、今の時期、この減額が出てくるのかなど、結果的には減っておるんですけども、管理されている状況はどうだったんでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

今回の電算委託料の減額につきましては、当初予算において、約4,000万程度のシステム改修のための電算委託料を見込んでおりました。結果的には、その経費について、約半額になりまして、今回の補正でその不用額を減額するということになっております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、本案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） なしと認めます。

以上で、討論を終わります。

これから議案第17号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第17号 令和2年度玉城町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）は原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第18号 令和2年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第

2号)

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第18号 令和2年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） なしと認めます。

以上で、討論を終わります。

これから議案第18号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全 員 挙 手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第18号 令和2年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第19号 令和2年度玉城町山村振興事業特別会計補正予算（第3号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第19号 令和2年度玉城町山村振興事業特別会計補正予算（第3号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、本案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なしと認めます。

以上で、討論を終わります。

これから議案第19号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全 員 挙 手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第19号 令和2年度玉城町山村振興事業特別会計補正予算（第3号）は原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第20号 令和2年度玉城町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第20号 令和2年度玉城町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、本案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なしと認めます。

以上で、討論を終わります。

これから議案第20号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全 員 挙 手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第20号 令和2年度玉城町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第21号 令和2年度玉城町介護保険特別会計補正予算（第4号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第21号 令和2年度玉城町介護保険特別会計補正予算（第4号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

津田委員。

○委員（津田 久美子） 2款保険給付費の1項介護及び予防サービス等諸費、11ページです。18節、介護サービス等給付費の減額についてですが、先ほど一般会計のほうで、小林委員のほうから介護保険給付費の繰出金の減について、介護サービスの給付費の減が原因というふうなお話しもございましたが、こちらのほうの金額については、コロナウイルスの影響等はあったのでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

介護給付費に対しましてのコロナウイルスの影響については、あまりないというふう
に感じております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 津田委員。

○委員（津田 久美子） ほかに理由があれば、お聞かせください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

今回、当初予算におきまして計上しました給付費の部分につきましては、第7期事業
計画の令和2年度分の金額を当初として計上しまして、今回補正をしますのは、年度末
を見据えた実績ということでございます。

補足の説明なりでも申し上げたところなんですけれども、実際事業計画に対しまして
は、各サービスのご利用は少なかったということでございますけれども、昨年度の実績
値からは、やはり5%程度の伸びが見込まれておるところでございます。

事業計画の策定の際には、やはり余裕を持った計画ということも想定しておりますの
で、計画値については、やはりちょっとやや大きかったのかなというのが現在の感想と
いいますか、そういうことでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、本案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なしと認めます。

以上で、討論を終わります。

これから議案第21号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第21号 令和2年度玉城町介護保険特別会計補正予算（第4号）は
原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第22号 令和2年度玉城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第22号 令和2年度玉城町後期高齢者
医療特別会計補正予算（第2号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。
ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で、本案に対する質疑を終わります。
続いて、討論を行います。
討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。
以上で、討論を終わります。
これから議案第22号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。
したがって、議案第22号 令和2年度玉城町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第23号 令和2年度玉城町病院事業会計補正予算(第3号)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第23号 令和2年度玉城町病院事業会計補正予算(第3号)を議題にします。
これから質疑を行います。
発言を許します。
ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で、本案に対する質疑を終わります。
続いて、討論を行います。
ありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で、討論を終わります。
これから議案第23号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。
したがって、議案第23号 令和2年度玉城町病院事業会計補正予算(第3号)は原案のとおり可決されました。

日程第9 議案第24号 令和2年度玉城町水道事業会計補正予算(第3号)

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第24号 令和2年度玉城町水道事業会計補正予算（第3号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） すみません、単純な質問なんですけれども、水道事業の収益の営業収益で、給水収益がプラスになっています。101万5,000円で、普通、一般的にはこの収益が上がれば支出も上がるのかなと思っていました。それは、原水費、配水費で、動力費は逆に下がっていますし、燃料費、または動力光熱費も下がっているということなので、少しちょっと矛盾を感じるんですが、どういう状況なんですか。

使用料が増えたら、経費もかかるのかなというふうな感じなんですけれども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 下水道課長、真砂浩行君。

○上下水道課長（真砂 浩行） 下水道課長、真砂。

奥川委員の質問に対してですけれども、収入のほうが増えておると、それに対して固定費のほうが減っておるのはなぜかというふうなご質問なんですけれども、当初計上、予算編成する際に、前年度の実績等を見極めながら、固定費等の算出をしていきます。

実質、動力費につきましては、配水池へのくみ上げというものが主な動力費になってきます。今、現在原水費でありましたら、山岡水源地の導水管から引きこむ、井戸から引きこむポンプ、そこから岩出の配水池へ送るポンプ、それで山神へというふうな話で、実際使用料は増えておるんですけれども、動力に関しては、その見込みよりも下回ったという、実際の話、電気料が値下げしたとか、そういうふうな話もないもので、ただ単に実際実質がその見込みよりも低かったというふうなことでご理解いただけませんか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、討論を終わります。

これから議案第24号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第24号 令和2年度玉城町水道事業会計補正予算（第3号）は原案のとおり可決されました。

日程第10 議案第25号 令和2年度玉城町介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第25号 令和2年度玉城町介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

山路委員。

○委員（山路 善己） 支出のほうです。ページ数、4ページで、1款、2項、1目、給料のところでは1,137万6,000円減収となっていますけれども、これは職員数の減少と説明を受けております。

これ、具体的に実情をちょっと教えてください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 病院老健事務局長、中世古憲司君。

○病院老健事務局長（中世古 憲司） 病院老健事務局、中世古。

お尋ねの給与費の減額の件でございますが、年度内に看護師が1名、これは7月ぐらいだったと思いますが、それからもう1人、介護員がもう1名退職をいたしましたので、その部分の減ということでご理解いただきたいと思っております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。

○委員（山路 善己） 恐らく、2名の方の減収だと思っておりますけれども、少ない人数でいつもやってもらっているのに、要するに通常の業務、並びにサービスなんかに影響はないんですか。もしくは、また来年度、増員、そういった要望もされておるんですか。その辺、どんなんですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 病院老健事務局長、中世古憲司君。

○病院老健事務局長（中世古 憲司） 病院老健事務局、中世古。

この件につきましては、都度、介護員、看護師の募集をかけさせていただいております。

今現在、3月に入りましてから募集を受けまして、数名の方の入職が予定をされております。また、来年度におきましても、施設基準と照らし合わせながら、収支のほうも考えながら、施設基準を満たすように、随時職員の定数について図らせていただきたいと思います、このように考えております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

小林委員。

○委員（小林 豊） 同じことなんですけれども、そうすると施設基準は、現状でも満たされておるといふ考え方でよろしいでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 病院老健事務局長、中世古憲司君。

○病院老健事務局長（中世古 憲司） はい、現状で満たされております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 小林委員。

○委員（小林 豊） そうすると、考え方によっては、今まで過剰人員やったと違うかという考えもできるわけなんですけれども、その点について、事務局長としてどのようにお考えでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 病院老健事務局長、中世古憲司君。

○病院老健事務局長（中世古 憲司） 昨年度も5名ほど退職がございまして、その補充をさせていただいたところがございますが、やはり現場の必需基準もございまして、現場の回し方もございまして、5名不足というところを3名ということで留めさせていただいたところでもございます。

それから、施設基準につきまして、施設基準というよりも、医療依存度の多い方、これが非常に高くなってきておりまして、今現在、老健の施設としては介護度が平均として3.7ということになっております。

当然、介護度の4・5の方も複数名含まれておりますし、近年は認知症の関係で入所されている方もお見えになるということですので、施設基準ぎりぎりではやはり運営するのは、なかなか現場としては厳しいということもございまして、そのあたりを勘案させていただいて、人員のほうの配置をさせていただいておるところでございます。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 小林委員。

○委員（小林 豊） 事務長が言われることは、すごくよく分かるんですけども、介護度が高くなってきたら、本来なら特養へ転居を勧めたり、本来の老健の役割、中間施設という役割から、今はどこでもそうなんですけれども、第2の特養化されておるといいうのは十分分かるんですが、介護報酬の改定も次年度からある中で、その点について、十分理解してやられておるんか、新年度予算も組まれておるんか、その点だけお伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 病院老健事務局長、中世古憲司君。

○病院老健事務局長（中世古 憲司） 病院老健事務局長、中世古。

ご指摘のとおり、令和3年度には介護報酬が改定されます。ただ、予算要求の時期と、介護報酬の決定の時期が非常にずれておりまして、新型コロナの影響で、介護報酬の答申というものが3月までずれてしまいましたので、こちらのほうは十分把握の上、対応させていただきたいと思っておりますが、当初予算提出時におきましては、介護報酬の内容が全く未定ということでもございましたので、当初予算につきましては、昨年度のベースで組ませていただいております。

介護報酬がアナウンスされておりますので、それにつきましては、都度、改定を反映させていただきまして、実施をさせていただきたい、このように考えております。

以上です。

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、以上で本案に対する質疑を終わります。
続いて、討論を行います。
ありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なしと認めます。
これで討論を終わります。
これから議案第25号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。
（全 員 挙 手）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。
したがって、議案第25号 令和2年度玉城町介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決されました。

日程第11 議案第26号 令和2年度玉城町下水道事業会計補正予算（第3号）

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第26号 令和2年度玉城町下水道事業会計補正予算（第3号）を議題にします。
これから質疑を行います。
発言を許します。
ございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、本案に対する質疑を終わります。
続いて、討論を行います。
討論ございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なし。
以上で、討論を終わります。
これから議案第26号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。
（全 員 挙 手）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。
したがって、議案第26号 令和2年度玉城町下水道事業会計補正予算（第3号）は原案のとおり可決されました。
ただいま、11時43分過ぎなんですが、ちょっと中途半端なんですが、一応補正予算は

全部終わりましたので、お昼休憩を取らせていただいて、午後1時から令和3年度の当初予算の審議を行います。

休憩をさせていただきます。

(午前12時00分 休憩)

(午後1時00分 再開)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、休憩前に引き続き、令和3年度の当初予算の審査を行います。

日程第12 議案第27号 令和3年度玉城町一般会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、議事に入ります。

議案第27号 令和3年度玉城町一般会計予算を議題にします。

歳出については、各款ごとに所属課長より補足説明なり施策についての説明を単位に行います。

なお、総括的な質疑は最後に行いますので、あらかじめご了解願います。

まず、歳入について質疑を行います。

それでは、16ページ、1款町税から、17ページ、2款地方譲与税まで質疑はありませんか。

奥川委員。

○委員(奥川 直人) 3月の補正のときも質問させてもらったんですが、この歳入の町税の個人の滞納繰越金、これ、多分恐らく毎回この場で言うと思うんですけども、この目標値が468万1,000円ということです。令和2年度はもう少し700万ぐらいの徴収ができておったんですが、この目標設定について本来はもう少し実態に合った形で、実力に合った形の設定をしてほしいと思いますが、この辺についてはいかがでしょうか。この設定した理由ですね。

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 税務住民課長補佐税務担当、梅前宏文君。

○税務住民課長補佐税務担当(梅前 宏文) 先ほどの話もあつたんですけども、一応ほかに当初予算の策定期間の部分の現年度分の決算見込値と過年分の決算見込値を足した部分に、今回30%の目標値をつけて想定、計上させていただいたところでございます。

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 奥川委員。

○委員(奥川 直人) できれば実績も含めて設定していただくといいかなと思いますので、また今後よろしく願います。

以上です。

○予算決算常任委員長(坪井 信義) ほかございませんか。

北委員。

○委員(北 守) 同じく16ページの町税、固定資産税なんですが、説明欄の中で、土地が昨年、これ、ちょっと現計と若干違うんかも分かりませんが、昨年とほぼ

同額です。それから、家屋については、毎年玉城町80棟か何棟かちょっと分かりませんが、増えていくというのが通常の感覚なんですけれども、こちら辺は昨年と比べて家屋は下がっておるので、この理由というのはどういうものであったのか、お伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長補佐税務担当、梅前宏文君。

○税務住民課長補佐税務担当（梅前 宏文） こちら例といたしましては、新型コロナウイルス感染症によります令和3年度は固定資産税の軽減措置がございまして、こちらの家屋の部分と償却の部分がその分予想して減らしてあるということでこの額にさせていただいております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。

○委員（北 守） はい、結構です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長 田村 優君。

○税務住民課長（田村 優） あと、土地につきましては、国の税制改正のほうの通達が来てございまして、前年の評価を上回ってはいけないということで来ておりますので、土地のほうについては、昨年と同額ぐらいになってございます。よろしく申し上げます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、18ページ、2款地方贈与税から19ページ、8款ゴルフ場利用税交付金まで質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、20ページ、9款環境性能割交付金から21ページ、15款使用料及び手数料まで質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。

次に、22ページ、15款使用料及び手数料から23ページ、16款国庫支出金まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、24ページ、16款国庫支出金から25ページ、17款県支出金まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、26ページ、27ページ、17款県支出金まで質疑はありませんか。よろしいですか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） すみません、県支出金の4目の土木費、よろしいですか、これ。県負担金のところですが、地籍調査で555万2,000円という形でかなりアップされていますんで、この辺のアップしたという理由をちょっとお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 今建設がおらんねんな。ちょっと今建設おりませんで。またそしたら、入れ替えてからで。

（「忘れとったらすみません」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 覚えといてもらえますか。

そういうことで奥川委員、申し訳ないです。

○委員（奥川 直人） はい、分かりました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございせんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、28ページ、17款県支出金から29ページ、20款繰入金まで質疑はありませんか。

（「すみません」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） あるんですか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） すみません。寄附金のところで、19款ですけれども、ふるさと応援寄附金というのが今回5,000万という形で上げられていまして、少し調べさせていただきますと、発送業務とかいろんな形でいろいろ差っ引かれて、正味2,410万が手元に残る勘定になりますが、この5,000万という設定は見込みだと思っておりますけれども、目標としてどれぐらいのところ辺を置いてみえるのか。そして、それと、また、私もほかの…

（「これも産業振興課」と呼ぶ声あり）

○委員（奥川 直人） これも産業振興課、そうなんか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） またさっきと同じような対処でお願いできますか。

ほかにございせんか。

次に、30ページ、20款繰入金から31ページ22款諸収入まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、次に、32ページ、22款諸収入から33ページ、23款町債まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） では、34ページ、23款町債及び10、11ページの第2表債務負担行為、第3表地方債まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ないようですので、これで歳入についての質疑は終わります。

次に、当初予算別添資料も併せて歳出について質疑を行いますが、1款議会費及び2款総務費のうち、6項監査委員費についての質疑は省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 異議なしと認めます。

したがって、1款議会費及び2款総務費のうち、6項監査委員費についての質疑は省略することに決定しました。

それでは、予算書36ページから53ページまでの2款総務費について質疑を行います。歳入のほうで説明ございますか。特別に何か補足説明のほうはありますか。

申し訳ございません。それでは、順次お願いします。

1項総務管理費、36ページから46ページ。

じゃ、これ、説明を求めますので。

総務政策課長 中西 元君。

○総務政策課長(中西 元) それでは、36ページをお願いいたします。私は36ページから5目の財産管理費まで説明をさせていただきます。

今回説明の前になんですが、今回の説明といたしましては、新規事業及び前年度と比較いたしまして、大きく増減のあった項目について中心に説明をいたしたいと思っております。

それでは、36ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、特別職及び一般職員に係る人件費関係と併せまして、特別職報酬と審議会委員報酬、委員経費、情報公開・個人情報の保護等に係る経費の計上で、前年度当初と比較いたしまして2,576万4,000円減の1億9,231万2,000円といたしております。報酬の会計年度任用職員報酬は、会計年度任用職員12名と宿日直4名の報酬といたしまして2,320万9,000円を計上いたしております。給料では、特別職給料と一般職員、新規採用職員及び再任用職員合わせまして12名の給料で3,771万3,000円を計上いたしております。昨年からの減の要因といたしましては、人員の組替えにより減額したものでございます。職員手当等及び共済費は特別職、一般職員及び会計年度任用職員に係る経費をそれぞれ計上をいたしております。報償費及び需用費の減につきましては、65周年記念式典経費の皆減によるもので、それ以外の経費につきましては、前年度の実績見込みにより計上いたしております。

次、38ページ、委託料の入札参加資格受付審査共同化作業委託料につきましては、令和4年度が工事の指名願登録の更新年度に当たります。令和3年度にシステム更新作業を行うため、その経費を負担するため増額といたしております。また、負担金補助及び交付金の入札参加資格受付審査共同化作業負担金は、さきの説明同様、物品に係る指名願の登録更新のため、増額計上いたしております。

次に、39ページ、2目文書広報費は、広報広聴経費で、主に町広報、ケーブルテレビに要する経費となりまして、前年当初と比較いたしまして32万1,000円増の1,963万6,000円を計上いたしております。委託料のテレビ番組作成業務委託料206万4,000円は、三重テレビの番組作成及びケーブルテレビ番組作成業務に係る経費でございます。

3目財政管理費は財政全般に係る管理経費及び財務会計システム等の電算化管理に要

する経費で、前年当初と比較いたしまして258万5,000円減の2,527万7,000円といたしております。給料、職員手当等及び共済費は、職員2名に係る経費で、人事異動に伴い減額となり、また、ほかの科目につきましては、おおむね昨年同額で計上いたしております。

40ページ、4目会計管理費は、出納事務全般に要する経費で、前年当初と比較いたしまして22万5,000円増の1,902万1,000円の計上といたしております。給料、職員手当及び共済費は、出納室職員2名に係る経費、他の科目につきましては、おおむね昨年同額で計上をいたしております。

40ページから41ページにかけてでございますが、5目財産管理費は、役場庁舎の維持管理に要する経費で、前年当初と比較いたしまして1,201万3,000円減の7,206万8,000円の計上となります。需用費、役務費は、前年度の実績見込みにより計上いたしております。委託料では、公共施設個別施設計画策定業務委託料、この経費が皆減となったことから1,069万9,000円を減額したということになっております。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○**総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成）** それでは、私から引き続きまして、42ページから43ページ、6目についてでございます。6目企画費は、総務政策課及び産業振興課が所管をする予算ということでございます。なお、本年度は税務住民課が所管をいたします個人番号カードコンビニ交付に係る経費につきましては、戸籍住民基本台帳費に移行をしております。

それでは、総務政策課の所管する予算につきましてでございますが、第3次男女共同参画計画の策定に係る経費及び田丸駅耐震診断等業務委託料を新規に計上するほか、継続する事業といたしまして、首都圏からの移住・就業を促進するための移住・就業マッチング支援事業補助金として100万円を計上しております。

また、産業振興課が所管いたします予算といたしましては、新たにふるさと納税寄附受付返礼品発送管理業務委託料349万8,000円を計上してございます。ふるさと納税の増額を達成するためには、いまや返礼品への協力者が必要でありますことから、現状はふるさと納税の寄附受付返礼品発送管理に追われている状況でございます。今回その部分を外部委託いたしまして、返礼品の掘り起こしに注力をし、ふるさと納税の増額を図るため、予算を計上しておるというものでございます。

43ページ、7目交通安全対策費では、総務政策課、税務住民課、建設課が所管する予算となっております。前年当初と比較いたしまして19万1,000円増の878万5,000円の計上ということでございます。工事請負費の区画線設置工事400万円は、主に田丸地内の外側線、クロスマークの補修、原材料費はカーブミラーなど安全施設の整備経費として昨年同様100万円を計上してございます。また、他の科目については、おおむね昨年同様で計上をしております。

続きまして、43ページから44ページ、8目地域情報化推進費ではインターネット関連

及び高度情報化推進に関する経費を計上しておりまして、前年当初と比較いたしまして41万1,000円増の1,627万6,000円を計上しております。

12節委託料は、庁舎内の情報ネットワークシステム関連の保守業務に要する経費、このほか住民情報システム改修業務委託料110万1,000円を6目企画費から組み替えて計上をしてございます。

18節負担金補助及び交付金では、三重県が行います情報セキュリティクラウド、情報ネットワークの構築に係る経費の負担金で、それぞれ昨年度から増額して計上をしてございます。

続きまして、44ページから45ページ、9目諸費では、総務政策課と税務住民課が所管をしております。総務政策課の所管する主な予算につきましては、負担金補助及び交付金で区集会所建築事業補助金、自治区交付金、地域活動助成金など自治区に関連する経費を計上してございます。

税務住民課が所管をいたします予算の主なものといたしまして、生活安全推進協議会に係る経費といたしまして、報償費で19万2,000円、旅費では46万4,000円を計上しております。役務費では、諸事務等取扱手数料といたしまして888万3,000円を、工事請負費では、防犯灯設置工事請負費といたしまして49万1,000円を計上してございます。また、防犯カメラ設置工事費といたしまして84万7,000円を計上しております。

続きまして、45ページから46ページ、10目地方創生推進費は、これも総務政策課と産業振興課が所管する予算でございまして、総務政策課の所管する主なものといたしましては、地方創生推進交付金事業及び地域おこし起業人に関する経費で、昨年度に補正予算で対応したことから、前年度と比較し7,863万4,000円の大幅な増額となっております。地方創生推進交付金につきましては、令和2年度から令和4年度までの3か年事業として昨年4月に国の地域再生計画の認定を受けて実施をしておりまして、その3つの事業に係る委託料をそれぞれ計上してございます。また、地域おこし起業人につきましては、移住・定住及び観光振興に係る2人分の必要経費を計上してございます。

また、産業振興課が所管いたします予算としましては、昨年度から引き続き集落支援員1人分の予算を計上してございます。また、新たに地域おこし協力隊が最終年であるため、起業支援補助金100万円を計上しております。ここまでが私のところでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次、徴税费。

税務住民課長 田村 優君。

○税務住民課長（田村 優） 続きまして、46ページ、2款総務費、2項徴税费、1目税務総務費におきましては、職員6名分の給与及び手当、委員報酬等で4,149万5,000円を計上いたしてございます。

次に、2目賦課徴収費では6,256万7,000円を計上いたしますが、主なものといたしま

して、12節委託料といたしまして3,285万7,000円、うち主なものといたしまして例年の経常的な経費といたしまして電算委託料1,734万3,000円、また今年度から3年間の長期契約を計画いたしております固定資産評価業務委託で、初年度分といたしまして1,344万2,000円、またその業務に関連いたしまして、例年の時点修正のための不動産鑑定委託料といたしまして204万5,000円を計上いたしてございます。

続きまして、13節使用料及び賃借料で各種システム使用料といたしまして1,234万7,000円、18節負担金補助及び交付金で348万1,000円を計上いたしまして、この主なものといたしましては、三重地方税管理回収機構への負担金といたしまして263万3,000円を計上いたしてございます。また、22節償還利子及び割引料で過誤納還付金といたしまして300万円を計上いたしました。

次もいってよろしいですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） どうぞ。

○税務住民課長（田村 優） 次、49ページ、2款総務費、3項住民基本台帳費、1目住民基本台帳費では、今年度から1項総務管理費、6目企画費より社会保障・税番号制度システム整備事業、いわゆるマイナンバーカード交付に係る経費等について予算科目調整のため移動を行ってございます。従来経費と合わせまして5,566万5,000円の計上をいたしてございます。内容につきましては、2名分の職員給与、手当をはじめ、12節委託料といたしましては、主なものといたしまして、通知カード、個人番号カード関連業務で555万円、同業務保守で158万4,000円、戸籍システム保守委託で369万2,000円、また、昨年度より導入いたしました全国のコンビニエンスストアで戸籍、それから住民及び税関係の各証明の発行するコンビニ交付業務といたしまして405万8,000円を計上いたしてございます。また、13節使用料及び賃借料で各種システム使用料といたしまして、1,128万2,000円計上いたしておるところでございます。これにつきましても従来の戸籍住民基本台帳費の住民記録システム等のほかに12節の委託料同様に総務管理費の企画費から社会保障・税番号制度システム整備事業関連の経費を計上いたしておるため増額となっております。

17節備品購入費では、マイナンバーカードの保管のための鍵つきの棚を購入を予定してございます。18節負担金補助及び交付金では、自治体中間サーバー負担金といたしまして416万3,000円を計上いたしたところでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、選挙費。

総務政策課長 中西 元君。

○総務政策課長（中西 元） それでは、4項選挙費につきまして説明を申し上げます。

1目選挙管理委員会費は、選挙管理委員会に要する経費で、前年と比較いたしまして167万8,000円減の602万4,000円を計上いたしております。減額の主な要因といたしまして、職員1名分の給与、職員手当及び共済費の減となり、人事異動に伴うものでござい

ます。ほかの科目につきましては、おおむね昨年同額で計上いたしております。

2目選挙常時啓発事業費は、選挙啓発に要する経費で昨年度当初と同様15万6,000円を計上いたしております。

3目衆議院選挙費は、本年執行されます衆議院議員選挙に要する経費といたしまして790万7,000円を計上いたしております。

次、52ページの5項統計調査費、1目統計調査総務費では、国勢調査の終了によりまして、前年度と対比いたしまして415万8,000円減とし、154万8,000円を計上いたしております。令和3年度につきましては、経常的な調査のほか経済センサスが主な統計調査となっております。

以上でございます。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 以上で総務費の説明が終わりましたので、36ページから順次質疑を行います。これは項目ごとに行います。

1項総務管理費、36ページから46ページを範囲とします。

質疑ありますか。

山路委員。

○**委員（山路 善己）** 1項総務管理費の中の10目地方創生推進費、46ページですが、12節の委託料、これは本年度の補正でも質問させていただきましたが、同じような金額が上がっています。そして、これ、3か年計画とおっしゃいましたか。3か年の事業。ちょっとそれ、私思うんですが、今年度分は今年度終わって、また新たにこれ、同じような金額が上がっているんですけども、ちょっとこの理屈を説明していただけませんか。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○**総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成）** こちらにつきましては、午前中にも少しお話をさせていただきましたが、国の地域再生計画の認定を受けて事業を実施するというので、今年度予算をお認めいただきまして、これ、3か年で事業を実施するというような計画でございます。その中で今年度については、同じような金額ですけども、予算を計上させていただいて、その事業の計画に沿って2年度分についても事業を進めたいということで、その予算についても3年分で予算をお認めをいただいて、それに沿って進めるということで計上いたしたものであるということでございます。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 山路委員。

○**委員（山路 善己）** とうことは、今年度楽天さんとかリクルートなんかに委託して、その事業を今年度また予算をお願いするということですか。これはこれで終わり、また新たにやるんですか。ちょっとその辺、同じ金額が2つ上がっていますので……

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 副町長 田間宏紀君。

○**副町長（田間 宏紀）** 私のほうから説明をさせていただきたいと思います。

これにつきましては、今年の3月の段階で地域再生計画を上げるに当たって、全協の

中で3か年計画の3つの事業を説明させていただいております。そういう中で、内閣府地方創生本部のほうに提出をし、承認を得たというふうなことから、昨年度補正で令和2年度分は組まさせてもらったというふうなことでございますので、既に3か年の大きな枠と地域再生計画というのは、もう既にホームページにも載っておりますので、そちらのほうをご確認いただいてしていただきたいというふうに思います。それとまた、午前中にもあったように、今年度分のやはり精査、そしてまた次年度分のというのは、また4月の入った段階でしっかりと説明もさせていただきたいと思っておりますので、ご了解願いたいと思っております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。もう一度。

山路さん。

○委員（山路 善己） 分かりました。またその説明しっかりと、それから1年前の説明も忘れないように、今後気をつけます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊 昌行） 39ページの文書広報費の中の18節負担金で、三重テレビ放送助成金とか三重FM放送助成金というのが少額ですけれども、ありますけれども、これは利用してもしなくても助成って使う費用ですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 今ほど、この18節に関してご説明を頂戴をいたしました。

こちらの三重テレビ、それから三重FM、どちらについてもなんですが、こちら県の町村会で一括して宣伝をするということで、町をPRするというので、それぞれの三重テレビさんであったりとか三重FMさんに支出をさせていただくと。それを案分で町の負担分としてこちら上げさせていただいております、必ず番組を持ってやっておりますので、玉城町においてもそのFMで情報が発信をされたりとか、テレビで紹介をされたりということで活用がされておるということでございます。そういった意味で助成金ということで計上をさせていただいております。

以上でございます。

○委員（渡邊 昌行） 理解しました。ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 同じく文書広報費のところ、委託料なんですけれども、CATVとかテレビ番組の作成という形で予算が盛られておりますけれども、特に作成のところ、これはテレビ見ておられる方からいろんな課題とか、こうしたらどやろかという意見もあると思うんですけれども、そういう声を聴きながら、うまく伝えられるといえますか、昨年と同様じゃなくて、今年はこういうところを変えていくんだというものがあるのか、今までどおりのパターンでいくのか、どちらでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 私どものたまきチャンネルの番組の取組についてのご質問を頂戴したというふうに思っております。

実は今年度こういったコロナ禍がある中、非常にこれまでですと、お出かけをしてそれぞれの施設であったりとか行事を撮影をし、それを流していくというふうな取組がこれまで主流ということでやっておりましたが、こういった状況の中、イベント事業が軒並み中止というような中で、私どももどのようにして地域の皆さんに必要な情報を届けていこうかという話の中で、例えば今回教育委員会さんと一緒にさせてもらった先生方が英語の番組を一緒につくってくださって、それをケーブルテレビで皆さんに流す。また子供たちも見てもらうというような取組が進んでおったりとか、また自分ところの中身の事業を皆さんに紹介するというような取組を通じまして、非常に私どもの感覚としましては評判がよかったというふうに受け取っております。

まだまだこういう状況が続く中で、これまでのそういう事業を取材をし、発表していくということに加えながら、そういった自主オリジナルの番組構成というのも少し展開してまいりたいなど、準備もしていかなあかんというふうなことで考えております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） いいですか。ほかありませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊 昌行） 45ページ、諸費の中の14節工事請負費の防犯カメラ設置工事請負費というのが上がっておりますが、これはもう具体的にどこというイメージ、固定ありますか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長 山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 候補としましては、今後継続しましてつけていく予定でございます。その中で、来年度におきましては、今のところは役場の駐車場を計画しております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 渡邊委員。

○委員（渡邊 昌行） もう一点、現状は今何箇所についておって、それに追加で役場ということですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長 山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 少々お待ちくださいね。

現状もうついております。今年度は例えば中央公民館に、令和2年度は設置しておりますし、そのほかアスピーヤ玉城や田丸の駅前、駅周辺も設置しております。それと、あと、令和元年度におきましては、玉城中学校のトイレの前に設置もしております。

そういったことで今後も役場をはじめ教育委員会のほうの駐車場、あと旧処理場、下水の処理場も防災倉庫も兼ねておりますので、その辺りも含めて計画をしております。

○委員（渡邊 昌行） 了解しました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） 37ページの中のいつもこれ、計上していただいておりますけれども、7報償費の弁護士報償金、額は去年と変わっていないかなと思います。相談内容というんですか。委託先が多分ですけれども、ちょっと町村会の弁護士さん専任の弁護士さんに頼まれると思いますけれども、何件ぐらいを想定しておるのかということと、今までにどのような案件、行政関係の案件も含めて相談なされたのか、そういう点お伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 答弁者誰ですか。

総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） こちらにつきましては、全く町村会ということではなくて、個別に津の弁護士事務所と契約をいたしておるものでございます。相談のケースって様々ございまして、例えば不当要求に関するものというのが今年度、2年度多くあったように思いますし、それから、あと各種手続、改正をしようとしたときの相談、何か条例であったりとか手続を変更しようとしたときの相談であったりとか、契約書に関する相談、こういったものを行っております。件数でお幾らということではなくて、毎月幾らということで契約をさせていただいておりますので、そういったご理解をお願いできればと思っております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） ちょっと認識悪かったんですが、個別に弁護士さんと契約しておられるということで、本来ならもう前からあったんですから、当然私も知っておらないかんだんですけれども、不当要求というのはかなり件数的には、行政に対する問題というのは、この頃住民意識も高いと思うんですので、そういう件数ということというのは、あまりないんですか。相談せなあかん、弁護士さんに相談してどう答えるかという、そういうふうなことというのは、どうでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 私ちょっと不当要求というふうな単語を出しておりますが、不当要求が決まってということではなくて、そういうようなものに例えば該当をするかもしれないとか、例えばその際の私どもの対応として、どういうことに注意をし、どういうことをきちんとなさなければならないか、こういったことを相談させてもらって、こんなこと、こういう要求があるけれども、これはどういう法律上の整理で、私どもとしてはどのように対処していくんだという相談、そういったものが私ども、簡単に不当要求と申し上げましたけれども、それに類するような相談というのがほとんどでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。

北委員。

○委員（北 守） 1点、すみません。

ちょっと39ページの文書広報費で、これはもう教えていただきたいという話なんですが、昨年は広報7報償費の中で、講師報償金3万3,000円計上していただいております。それで、この中で、昨年は34万1,000円ほど計上していただいたんですが、本年は3万3,000円というふうになっておるんですが、昨年の説明をひもといてみますと、広報を作成するのに、いわゆるプロの指導を仰ぐということで34万1,000円計上したというふうなお話を聞いた記憶があるんですが、今回3万3,000円でどのような報償金という形になるのか、どういう形で支払われていくのかというんか、そういう点をお伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 今北委員おっしゃられましたとおり、昨年度につきましては、おっしゃられた金額で計上させていただいております、専門家による研修、講習を予定しておったところで、それがなくなったので、今年度につきましては減額をさせていただいたと。また、今年度のこの3万3,000円というところですが、こちらにつきましては、アドバイスの講師ということで、その研修会を何回かというよりは、そのポイントポイントで広報の例えば作成した広報に対してアドバイスをいただくであったりとか、このようにしたらもう少し分かりやすい表現、タイトルのつけ方はこういうのがいいよというようなものを割合安易にといいますか、簡単に相談ができて、アドバイスいただけるようなところでこの3万3,000円を活用したいというふうに考えております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） 3万3,000円といいますと、何というんですか、ちょっとしたお礼というような形になるんじゃないかと思うんで、そういうふうな人が、現在当てがあるということで計上したと思いますんで、そういう点はそういうふうに理解させていただきました。ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

小林委員。

○委員（小林 豊） 先ほど可決された一般会計の3月補正で、先ほど渡邊委員がおっしゃっておった防犯カメラで29万7,000円減額しておるんですね。また新年度で、防犯カメラで84万7,000円を計上しておると。こういうやり方というのがどうなんかなと思うんですね。その点は、これは誰に聞いたらいいんか分からんけれども、これで30万円近く使わへんだんか、足らんだもんで、減額して、新年度予算に載せたんか。その点について誰が答えてもらえるか分からんけれども、ちょっと答えていただきたいなと思うんですけれども。

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長 山口成人君。
- 税務住民課生活環境室長（山口 成人） 令和2年度の分につきましては、もう入札での差金、執行残の精査というふうな形となっております。新年度予算は新規の場所へということでの見積徴収して、その額の計上という形なんですけれども。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 小林委員。
- 委員（小林 豊） いや、私言いたいのは30万近く残るんやったら、1つでもどこかへつけることができたんと違うかなということをお願いしたいわけなんです。それやのにまた今度84万7,000円を計上されておるもんで、そこら辺がどうなんかなということをお願いしたいわけなんやけれども。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長 山口成人君。
- 税務住民課生活環境室長（山口 成人） ちょっと時期的なものが正直ございました。完成が若干年明けてからというようなことになっておりましたんで、12月の補正の段階で処理ができておれば、小林委員おっしゃるような部分も可能やったんかなというふうにも思っております。昨年度同じような形で補正、執行残が出ましたもんで計上をしておったんですけれども、昨年度におきましては、令和元年度なんですけれども、ちょっとコロナの関係で入荷ができなくなったというようなこともございましたんで、昨年度の部分は補正上げたけれども、未執行というような形になっております。今年度以降につきましては、早期の発注におきまして、おっしゃられるとおり、執行残を有効利用させていただきたいというふうに考えております。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか、小林委員。
- 委員（小林 豊） まあまあ分らんことはないんですけれども、とにかく防犯カメラというのは、最近犯罪抑止に、あと犯罪の防止というんか、そこら辺にもつながってくると思うんで、ぜひとも1台でもようけつけていただくんが、これ、町民のためにもつながるんかなと思いますんで、よろしくお願ひしたいと思います。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。
- 委員（奥川 直人） これは43ページになりますが、交通安全対策でこれは建設になるんかな、区画道路の工事請負費の区画線設置工事請負費なんですけど、これにつきましては、これも計画が……
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川さん、建設。
- 委員（奥川 直人） 建設やな。そやな。じゃ、分かりました。じゃ、すみません。
- じゃ、先ほどの防犯カメラですけれども、これは今回、いいですか。諸費の防犯カメラですけれども、お聞きしたかったんですが、何台つけるんかなというのと、先ほど小林委員さんが言われましたように、計画性というのが明確になっておるんかということなんですんで、この単価が幾らで、その計画性がちゃんと明確になっているんやったら、どこへ設置したいということをお答えいただきたい。
- それと、すみません、もうついでに言うときます。

46ページになりますけれども、地方創生推進費の中で、13節の使用料及び賃借料、ここに玄甲舎周辺の用地、借地料とあります。この予算の中で、玄甲舎というのはこしか出てこない。申し訳ないんですが、令和3年のこの玄甲舎の活用については、どのように考えておられるのか、これをちょっと含めてお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山口室長、さっきの分も含めて答弁してもらえますか。

税務住民課生活環境室長 山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） まず、防犯カメラなんですけれども、1基つけるのに大体60万、70万ぐらいの単価となっております。

それで、ちょっと執行残の部分、今年の執行残の部分としては、小林委員おっしゃられたつかないような状況でございます。

あと、今後の計画なんですけれども、役場駐車場の表と裏が令和3年度の予定をしております。その後教育委員会の駐車場を翌年度以降、あとお城広場の職員の駐車場の部分、あと浄化センターの部分、ここは年度的なものはちょっと今設定はしておりませんが、設置のほうは計画、予定場所として挙げております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 玄甲舎の借地料というふうなことで8万4,000円を計上いたしておるところでございますが、こちらにつきましては、今あるカフェスペースの部分、こちらについての借地料というのを七十二候の分ですね、こちらについての借地料を計上いたしておるところでございます。

なお、その今年度の玄甲舎の運営に関しましては、教育委員会さんでということでしょうか。ということで、後ほどお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 教育長 中西 章君。

○教育長（中西 章） 委員の質問のほうの玄甲舎の今後の活用ですね。今年度と同じような形でスタートはするつもりです。ただ、今年度はコロナ禍で、予約していたお茶の会の人たちとかそういう方々がもうちょっと危ないので、やめますというふうに言われて、今年度は過ぎたんですが、これからコロナ禍でできることの中で進めていくつもりです。現に先日もお茶の会をしたいということで現場を見に来られた方もいます。そういう部分でこれから徐々にこちらが想定していた活用がなされていくというふうに思っております。

それと、玄甲舎周辺の借地のことも今年度はカナモリさんとの話し合いが進むことができませんでした。そういう部分では、再度来年度もそういうふうな話し合いも進めていきたいと思っております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員、政策的なことは一般質問等で行ってい

ただきたいと思います。ただ、ここは予算審議ですので、建設的なことを中心に質問をお願いしたいと思います。

どうぞ。まだあるんですか。この項で。

○委員（奥川 直人） いえ、先ほどの……

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務管理費で。

○委員（奥川 直人） そうそう。なんで回答したやつ……

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そうすると、これ、防犯カメラは84万7,000円でありますので、そうすると、1台が60万ということになりますと、何基今年はつけるんですか。1基か。そやけれども、2台と言うてもいませんか。役場の前後ろで。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長 山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 役場の前後1基ずつつけるような形で見積りのほうを取っております、しております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいか。2基ということやけれども。

○委員（奥川 直人） 2台で84万でいけるわけやな。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） そうです。今回はそうっております。

○委員（奥川 直人） 今回。それ、意味がよう分からんのですけれども、まあいいですね。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいか。総務管理費でほかにございませんか。中西委員。

○委員（中西 友子） 42ページ、6目企画費の中の11節役務費の中に通信運搬費が、今回新規で計上されていますが、その使い道についてと、同じ目の12節委託料で路線バス運行委託料が、前年、令和2年度の半額ぐらいの予算計上となっております。その説明をいただきたいのと、同じ目の18節の負担金補助及び交付金の中の宮川流域ルネッサンス協議会負担金もこれ、5万と令和2年度に比べてまたこれも半額の計上になっておりますが、その説明もお願いいたします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 3つご質問いただいたというふうに思っております。ちょっと先に12節委託料、路線バスの運行委託料の減額についてでございますけれども、こちらご承知のとおり、この田丸城跡の前から伊勢市駅までの路線、今度ループといいますか、周遊して回っておりますけれども、そちらの路線ということになってございます。こちらにつきましては、来年度、3年度、県の地域間幹線系統確保維持費補助金というのに該当するということで、その交付金事業を補助事業の対象となったということから、その委託料の減額をいたすというものでございます。

それから、先に18節の宮川流域ルネッサンス協議会の負担金が、昨年度10万円だったものが今年度5万円ということになったということでございますが、こちらにつきまし

でも、宮川流域ルネッサンス協議会というのが今、伊勢の県の庁舎でやっておりますが、こちらの方式も一旦市町で実施をするというふうなことになりまして、来年度については、まだこれ、本決定ではございませんけれども、伊勢市さんがその事務局を担っていただいて、実施をするということで事業の見直しをさせていただいておる部分がございます、その結果負担金としては、町は5万円ということで整理をさせていただいたというところでございます。

それから、もう一点が、11節の通信運搬費ですね。ちょっとこちらだけすみません、失礼しました。11節の役務費の通信運搬費でございますが、こちらについては3年度については、男女共同参画計画を策定をするという予定でおりまして、そのアンケートを取りたいというふうに考えておりますので、そちらについての通信運搬費として28万1,000円を計上いたしたというところでございます。

以上でございます。

○委員（中西 友子） 分かりました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。

それでは、2項徴税费、46ページから48ページの質疑を行います。
ありませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） じゃ、3項戸籍住民基本台帳、49ページから50ページを質疑を行います。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） なければ、4項選挙費、50ページから52ページの質疑を行います。ありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 選挙管理委員会費、これの13節の使用料及び賃借料になりますけれども、選挙システム使用料というのがこれはありますけれども、これは具体的に今年も選挙があるんで使いますけれども、昨年もこれ、ちょっと80万ぐらいで上がっていたんで、これ、毎年あってもなかっても支払っていくのかどうかというのをお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長 中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） こちらの選挙システムに関しましては、例年3、9、12と定時登録という選挙の名簿、台帳を整備をしていくことになりまして、その際に住民基本台帳との突合であったりとか、そういったそのことをするためのシステムということでございますので、経常的に発生してくる経費ということでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 分かりました。選挙があってもなかっても、これはもう毎時繰り

返していくと。了解です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにはございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） では、次に、5項統計調査費、52ページの質疑を行います。質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で2款総務費についての質疑を終わります。
ちょうど間もなく1時間ですので、次、民生費に入る前に10分間休憩します。5分から始めます。

（午後1時55分 休憩）

（午後2時05分 再開）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、再開します。

次に、53ページから64ページ、3款民生費について、まず説明を願います。

保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

それでは、53ページ、3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費は、職員6名の人件費、社会福祉協議会への委託業務及び運営補助、福祉団体への補助、また各特別会計への繰り出しに係る経費で、前年度と比較して6,836万5,000円の減の6億307万8,000円を計上しております。減額の主な理由は、人件費1名の減と福祉研修バス購入経費の皆減、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計への繰出金の減によるものです。

次、55ページ、2目人権対策費は、人権擁護と人権啓発に係る経費で、令和3年度におきましても、人権講演会の委託経費29万円を計上しております。

3目老人福祉費は、敬老祝い金、老人介護手当、要支援者管理、老人クラブ連合会への補助、老人保護措置などに係る経費を計上しております。今年度は、災害時に支援が必要な方の個別支援計画の作成に着手するため、12節委託料で災害個別支援計画作成委託料17万3,000円を計上しております。また、19節扶助費で、介護用品支給費は介護保険特別会計から組み替え、42万円計上しております。

56ページ、4目介護予防費は、高齢者等生活支援、介護予防支援に係る経費を計上しております。

5目国民年金費は、職員1名の人件費と国民年金手続に係る経費を計上しております。

57ページにかけて、6目児童手当費は、児童手当認定及び支給に係る経費で、児童手当扶助費を2億7,810万円と見込んでおります。

58ページにかけて、7目心身障害者福祉費は、障害者の在宅福祉、地域生活支援、障害福祉サービスなどに係る経費で、前年度と比較して362万1,000円減の3億9,736万1,000円を計上しております。18節負担金、補助及び交付金で、新規に児童発達支援センターの運営のための負担金17万円を計上し、19節扶助費では、令和2年度実績見込み

から地域生活支援に係る給付や補装具費等の給付額を減額しております。

8目福祉医療費は、障害者、独り親家庭、子ども医療費助成に係る経費で、1億1,377万7,000円を計上しております。

59ページ、9目福祉・保健施設費は、保健福祉会館の管理運営に係る経費でございます。12節委託料におきまして、保健福祉会館とふれあいホールの空調機器更新のため、設計委託料600万円を新規計上しております。

60ページから61ページ、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費は、子育て支援、保育に係る経費で、前年度と比較して2,930万6,000円減の3億739万6,000円を計上しております。主に保育士等人件費の減と、町外の幼稚園などへ通う児童数の減少見込みにより、19節扶助費が減額となったものです。

61ページ下段から63ページ、2目児童福祉施設費は、保育所、児童クラブの運営に係る経費で、前年度と比較して872万9,000円増の3億983万5,000円を計上しております。新たに田丸保育所の給食業務を委託するため、12節委託料を2,081万3,000円増額しております。

63ページ下段、3目母子福祉費は、入学祝い金や母子寡婦福祉会の補助に係る経費でございます。

64ページ、3項災害救助費、1目災害救助費は、災害救助に係る経費の口開けとして予算計上しております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 説明が終わりましたので、順次質疑、項目別に質疑を行います。

1項社会福祉費、53ページから59ページの質疑を行います。ありませんか。

風口委員。

○委員（風口 尚） 風口です。

56ページの、これは3目ですね。3目の、節でいいますと19節の扶助費、敬老祝い金扶助費というのが236万円ございまして、今まで議員懇談会なんかでいろいろ議論してきましたわけですがけれども、最近はもう一定になっておるのか、ちょっと確認をしたいもので質問するんですけれども、このところも一緒のような気がするんですけれども、内容をちょっとお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 敬老祝い金につきましては、77歳、88歳、99歳といった、ちょうどお祝いをする年ということで、従来から変わらず交付をしたいというふうに考えております。

○委員（風口 尚） 金額は。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長。

金額はお一人1万円でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 風口委員。

○委員（風口 尚） これは、しばらくこのところ、もう何年か、この形で。前はお一人5,000円でしたかね。そんなような時期もありましたな。これはこれでいいんですけども、ご検討されたのかどうかと思うんですけども、99とか、これは私の個人の意見ですけども、88とかになってくると、その年でお祝いのお金をもらってもなかなか使えないのかなというような気が、私、しているんですけども、今後、それよりもうちちょっと皆さんに行き渡るのがいいのかなと。これは、その人の見解の違いですけども、そう思うんですが、そういったご議論とかご検討とかはされたわけでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

今の77歳、88歳、99歳へのお祝い金をお渡しさせていただき事業が始まりましてからかなりもうたってきましたので、また皆様のご要望がございましたら検討したいと思うんですが、今回につきましては、従来どおりということで予算計上はさせていただいております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 風口委員。

○委員（風口 尚） 今回どうのこうの言うわけじゃないですけども、一度また検討する機会もあればなど。また、どういったことを皆さん、思っておられるのかなというのも、ひとつまた検討することも必要かなと思いますのと、この対象の方々の増減はどうですか、このところ。減っておるとか、例えば。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

ここ数年は、多少の増減はあるんですけども、あまり変わらない状態が続いているかなという感じしております。

○委員（風口 尚） はい、分かりました。ありがとうございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 1項、ほかにございませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 奥川です。

それでは、老人福祉費の55ページ、先ほどのところで委託料ですけども、先ほど奥野課長さんからお話ありましたように、災害個別支援計画作成委託料という形ですが、現状ですね、そういった計画がないのかなと。もともと基本的にはあって、それを改正するとかいうことではないのかという、現状とこの計画の意義とといいますか、作成する意義についてお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健副課長補佐、中野。

今回の災害時の個別支援計画につきましては、今まで要支援台帳に登録していただい

てはおるんですけれども、その方をどう災害時に誘導していくかというところに今まで至っておりませんでした。ですので、今年度、防災対策室とも連携をしながら、モデルの地区を選定させていただいて、個別に支援の必要な方、災害起こったときにどうしていくかという計画を立てさせていただいて、今後、災害時にどうやって活用していくかというのを検討していきたいと思っております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そうしますと、個別支援者管理システムというのがその上にありますけれども、そういったところも含めて、管理者というものが、年々刻々と私は変化をしていく、これは皆さん、ご存じだと思うんで、それは年度年度で見直しをしていくのか、いうふうなシステムの流れも含めてしないと、行政としては十分管理できていけないんじゃないかと、こんなふうに思いますので、その辺の考え方についてもお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健副課長補佐、中野。

奥川委員おっしゃるように、システムと、今後は個別支援計画とどうやってひもづいていくか、そこの辺も含め、活用していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○委員（奥川 直人） 続きまして、同じところで、18節の、次のページです。老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金、これが100万円になっています。去年は多分130万円ぐらいだったのかなと思いますが、これは、多分、恐らく老人会かなと思っているんですが、その金額減ったということは、そういう対象者が減ったということになるのかどうか、お聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健副課長補佐、中野。

老人会の補助金ですけれども、各種団体もそうなんですけれども、今年度補助金を出した団体で、当然、今、コロナ禍において、当初の予定しておった活動が行えない団体がたくさんありまして、その分、繰越金が事業費の中で各団体あるということで、その分は今年度差し引いて補助金を出すということで、また次年度は当然、その活動に応じた補助金を出していくという考えで、今年度については、令和2年度の補助金がそんなに使わなかった。活動費、皆さん、集めた会費であったり、プールした繰越金が各団体にあるということで、その分を考慮して、補助金減額を今年度についてはしております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 私は、今、認識としては、老人会のメンバー1人当たり幾らというふうなことで、じゃ、何団体あって、その1年間の活動費がこれだけ繰越しになっておるから減らすわと、そんなことはしてないと私は思っているんですよ、行政のほうは、そこはある程度、老人会にお任せで、人数でどうのこうのというふうには私は思ったもの

で、これは人数が減ったのかなと、このようにお聞きしたんですが、各団体の予算計上なり執行状況を把握してこんなに減らしたということではないんですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健副課長補佐、中野。

補助金を申請していただく際に、当然、その団体の、その年度の事業計画、予算計画等提出していただいておりますので、それに応じて必要な補助金を各団体が補助申請をしていただいております。その中で、一方的にカットするのではなくて、協議をしながら、じゃ今年度はこの部分で、この補助金でいけますねという話をさせていただいて、一応計上させていただいております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 分かりました。再認識をしましたので、分かりました。

あと、もう一点あります。次は58ページになりますが、先ほど予算でも質問させていただきましたが、身障者の福祉費の同じ項目になりますけれども、障害者介護、すみません、扶助費ですね。障害者介護給付費が、先ほど実績見込みからといいますと、昨年の実績が3億5,100万という形で、今回は3億になっています。障害児通所給付費、これが昨年863万4,000円が今回700万円になっておるといことなんで、この状況でいけば、もう少し金額を積んでおく必要があるのではないかと。要らん心配しますんですが、どうでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

おっしゃられます、障害者介護給付費と障害児通所給付費のことにつきまして、この金額については令和2年度当初予算と同額計上となっております。おっしゃっていただいておりますように、担当課といたしましては、伸びが見込まれている部分でございますので、この部分については、また今後、状況を見て、補正を行いながら執行していきたいというふうに考えております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） 北。

確認の意味で、57ページ、7、心身障害者福祉の18節なんですが、児童発達支援センターということで、この12月に条例を制定したんですけれども、負担金17万円の計上というのは、いわゆる実績に応じて今後も補正があるのかなのか、その点をお伺いしたいんですが、1年間、もう決まりきりやというんやったらそれでよろしいんやけど、利用する人が増えれば増えるほど負担金も増えてくると、こういうふうなシステムになっておるんかどうかだけお伺いします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。

児童発達支援センターの負担金、令和3年度につきましては、事業を運営していくた

の負担金となってございます。今回の負担金につきましては、事業費を予定をまだ正確にはいただいておりますので、一旦、100万円を構成市町で人口割で割り込みまして、負担額ということで、統轄していただいている伊勢市さんのほうから提示がされたもので、今後、事業の実施状況に応じて増減があるというふうに考えております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。

○委員（北 守） これはどんどん利用していただきたいということで、12月に条例化されたんですけども、そういうことで対処していただきたいと思います。

あと1点、聞かせてもうてよろしいですか。

55ページで、人権対策費についてはもう係の方、見えませんよね。それじゃ、副町長にちょっと答えてもらおうかなと思うんですけども、よろしいですか。質問する前に指名しておったらいかんのですけれども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 人権対策を副町長に答弁いただきたいそうです。

○委員（北 守） おりませんやろう。全部、住民課と違いますか、所管が。よろしい。

これは、町の考え方であっていいと思うんですけども、12の委託料の人権講演会委託料29万、これ昨年も変わっていません。それで、人権講演会というのは、結構、いい講師さんが来られるということで非常に任期があるんですよ。それで、29万の予算で本当に足るのかなというのが私の気持ちですので、ここら辺はそういう方ばかりを選んで講演会、来ていただいておりますと思うんですけども、ここは29万にしたというのは何か理由があるんですか。もうちょっと増やすというか、そういうことはなかったんですか、お考えは。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 副町長、田間宏紀君。

○副町長（田間 宏紀） 副町長、田間。

担当課がおりませんので、代わりまして、私の分かる範囲の中で。

（「おります」と呼ぶ声あり）

○副町長（田間 宏紀） 失礼しました、担当がおりますので。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課長補佐住民担当、福井希美枝さん。

○税務住民課長補佐住民担当（福井 希美枝） 税務住民課長補佐住民担当、福井。

ご質問いただきました人権対策費関係、講演会委託料についてですが、金額的には例年同額程度の講師さんということで選定をさせていただいております、まだ決定ではないんですが、今年、こちらの金額は、三重県が今年度から男女平等、ジェンダーの問題についていろいろ検討を重ねていただいております、そのジェンダーギャップに係る方の講師さんを選定するとするとこの金額でということで予算を計上させていただいております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 北さん、よろしいですか。

○委員（北 守） 男女共同参画ということね。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 副町長、田間宏紀君。

○副町長（田間 宏紀） 副町長、田間。

若干補足させていただきたいと思います。

財源内訳のところを見ていただきますと、国県支出金で14万7,000円と。これが県から委託されるお金でございます。ですので、不足する部分というのは町の単独事業のほうで補って、させていただいておるということで、町といたしましても、この人権の事業というのは重きを置いて対応させていただいておるということでございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。

それでは、3項災害救助費、64ページ、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ありませんか。

以上で3款民生費についての質疑を終わります。

（「2項」と呼ぶ声あり）

（「児童福祉費」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 抜けていました。申し訳ございません。

2項児童福祉費60ページから63ページを質疑を行います。質疑のある方、どうぞ。

津田さん。

○委員（津田 久美子） 2項児童福祉費の2目保育所の消耗品について、10節需用費に当たるのかな。保育事業消耗品について伺います。この金額は、前年度の当初予算とほぼ同額計上となっております。別添資料のほうを見させていただきますと、別添資料の7ページですね。各保育所の施設経費というのが書かれております。これは、前年度事業費とほぼ同額ないしは田丸保育所に関しては減額となっております。この中にはコロナ対策としての保健衛生の消耗品等も含まれて、この金額ということでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健福祉課長補佐、中野。

こちらの保育事業消耗品につきましては、コロナの部分については含まれておりません。通常の消耗品として、各園の園児の数掛ける単価を掛けて算出をさせていただいておりますので、この金額にはコロナの分としては含まれておりません。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 津田委員。

○委員（津田 久美子） ちなみに保健衛生のほうの関連消耗品というのは、どちらの予算のほうで担保されているのでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健福祉課長補佐、中野。

保育所のコロナ関係の消耗品についてですけれども、今年度、令和2年度ですね。県

の補助金を使って、アルコール等、一応、今年度そろえておりますので、当初の段階ではまだ数がたくさんあるので、まだ一年もつやろうというところで計上はしておりませんが、今後また状況に応じて、もし必要とあれば補正等で対応していきたいと思っておりますが、今のところ準備はしております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 津田委員。

○委員（津田 久美子） 小さい子供の衛生に関しては、小学校のほうでは学校の保健衛生関連消耗品という項目がございます。乳幼児に関してはマスクもしませんし、備品などの消毒に相当の経費がかかるのではないかなというふうに思われますので、今後、状況を見て、ご検討いただくことになるのでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健福祉課長補佐、中野。

先ほどもご説明させていただいたんですけれども、今年度、アルコール、消毒液ですね。手指消毒用と施設用の消毒用、2つ分けて、相当の数を補助金を受けて購入しましたので、当面はそれで保育所と話をしながら、もつという話で進められるかなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） 奥川です。

同じ児童福祉の児童福祉施設費で、すみませんが、これいつも、ずっと私は昨年の予算と比較してくると、今年はフロンの漏えい検査というのが予算にないもので、あれはもうしなくてよくなったのかなと思って、お聞きします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課長補佐、中野雄広君。

○保健福祉課長補佐（中野 雄広） 保健福祉課長補佐、中野。

フロンの点検につきましては3年に1度の点検になりますので、今年度令和2年度、点検をしましたので、来年、再来年と計上はないので、点検はまた3年後になるということでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかに2項、ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、3項災害救助費、64ページ、質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で3款民生費についての質疑を終わります。

次に、64ページから68ページの4款衛生費について説明願ひします。

保健福祉課長、奥野良子さん。

○保健福祉課長（奥野 良子） それでは、64ページの中段から、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費は、保健衛生に係る人件費と救急医療や休日診療、また伊勢広域環境組合負担金、それから未熟児の入院医療給付に係る経費となっております。

前年度比較して278万6,000円減の2億2,636万3,000円を計上しております。一番大きな額といたしましては、伊勢広域環境組合負担金1億6,005万4,000円でございます。

65ページから67ページにかけまして、2目予防費は、健康づくり、母子保健、予防接種事業などに係る経費で1億650万2,000円を計上しております。

12節委託料の健診委託料では、令和3年度、新規に前立腺がんの健診を取り入れ、18節の負担金、補助及び交付金ではおたふく風邪の予防接種の助成回数を1回から2回に拡大をいたしております。令和3年度も健康しあわせ委員とともに、健康マイレージ事業や総合健診を実施いたしまして、健康づくりを推進してまいりたいと思っております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長、山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 生活環境室長、山口。

私のほうからは、3目環境衛生費のほうからご説明をさせていただきます。

環境衛生費につきましては税務住民課と上下水道課が所管する予算となっております。内容としましては、ごみの減量化、不法投棄対策、畜犬登録等に要する経費で9,813万2,000円を計上し、前年当初と比較して524万2,000円の増額といたしております。

10節需用費、消耗品では指定ごみ袋の購入費など668万1,000円を、12節委託料では可燃物、資源ごみ収集委託で8,342万7,000円を、18節負補交では家庭用太陽光発電設置補助金として102万円、上下水道課が所管します合併浄化槽設置補助金といたしまして282万円を計上しております。なお、清掃員の退職に伴い、令和3年度から可燃物の収集を直営から委託へ切り替える必要が生じたことが主な増額の要因でございます。

続きまして、68ページ、4目公害対策費におきましては、水質検査、公害防止協定、また河川の水質検査委託料27万4,000円を計上、臨時検査用費用として20万円、合わせた47万4,000円の計上をお願いしております。

続きまして、2項清掃費、1目清掃総務費につきましてですが、こちらにつきましては、直営で実施しておりますごみ収集に係る人件費及び必要経費1,514万7,000円を計上しており、前年当初と比較して319万3,000円の減額となっております。清掃員1名の退職及び可燃物の委託による燃料費の減額が主な要因となっております。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 説明が終わりましたので、順次質疑を行います。

1項保健衛生費、64ページから68ページについて質疑を行います。

前川委員。

○委員（前川 さおり） 目3環境衛生費、節18負担金、補助及び交付金についてなんですが、別添資料の中に記載がなかったので教えていただきたいんですけども、説明の中で犬及び猫不妊手術費等助成金と上がっております。昨今、どこでもTNRの取組が盛んになってきておって、記憶の中では玉城町でも取り組みをされていたかと思うんですが、ほかの自治体に比べて助成金がとても低かったように記憶をしております。この予算で何か変わったこと等ありましたら、教えてください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課環境生活室長、山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 生活環境室長、山口。

委員仰せのとおり、近隣と比較いたしまして安価でございました。令和3年度、それに向けて改正をかけております。当初、犬及び猫、雄が1,500円、犬の雌が3,000円、猫の雌が2,000円の今まで助成金でございました。そちらを令和3年度から、雄を2,000円、雌を3,000円と、犬、猫の金額を上げたような形、雄の単価を500円上げたような形で要綱のほうの改正をかけさせていただきます。

そういったことで、なぜかということにつきましてなんですけれども、今、野良犬はほぼいないんですけれども、野良猫の苦情が多数ございます。県のほうの事業でございまして、TNRといたしまして、野良猫を捕獲して、避妊手術をして、また放すというようなことで、玉城町のほうでも相当数、こちらのほうを利用して対応のほうはしておるんですけれども、やはり飼い主の方への啓発というのが大切だということから、今回、多少ではございますけれども、補助額のほうアップをさせていただきたいということでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 前川委員。

○委員（前川 さおり） よく分かりました。それでは、啓発のほう、引き続きよろしくをお願いします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 1項、ほかにございますか。
北委員。

○委員（北 守） 67ページの2項2目の予防費の中の一番最後なんですけど、19扶助費3万6,000円、これは去年もそうでしたんですけれども、計上してもうてます。以前は子宮頸がんのワクチンを打った後遺症でちょっと残ったということで、今現在、どうなっておるかというのはちょっと分かりませんが、ここでお聞きしたいのは、新型コロナのワクチンを接種する場合の重い副反応が起こった場合、この節の中で対応していくのかどうか、その点をお伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課地域共生室長、中西扶美子さん。

○保健福祉課地域共生室長（中西 扶美子） 保健福祉課地域共生室長、中西。

北委員が言われたことなんですけれども、この科目では、定期接種の予防接種を受けた方で、万が一副反応が出た場合のための口開けになります。子宮頸がん以前、受けていた方は、もう完了していますので関係はないんですけれども、今、普通に受けてもらっています、お子さんでいうと二種混合とか三種混合、いろんなのがあるんですけれども、そちらの予防接種を受けたときに万が一、副反応が出たときのためのものになります。

あと、コロナも同じところである見込みなんですけれども、一応、コロナでは国のほうが副反応出たときは見るという形になっているかと思っておりますので、多分、町のほうでは見なくてもいいんじゃないかなという形になっております。

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 北委員。
- 委員（北 守） この節の中で対応していただけると、そういう意味ではなかったんかいな。国のほうで全部やってくれて。ちょっとすみません、ちょっと聞き取れなかったんで、申し訳ないです。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 課長、答弁してもらえます。
保健福祉課長、奥野良子さん。
- 保健福祉課長（奥野 良子） 保健福祉課長、奥野。
今回、お問い合わせいただいています、予防接種の副作用のときの、コロナワクチンのときにつきましても、やはり一旦、玉城町が立替払いをしてというようなことが発生してくる場合もございますので、同様に同じ科目で対応してくるということになってきます。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか、北さん。
- 委員（北 守） やっぱそういうことやな。はい、分かりました。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） ほか、ありませんか。
小林委員。
- 委員（小林 豊） 保健衛生費の5項で、合併浄化槽設置補助金、今、田丸周辺が全部下水道でいくんかなと思うとったら、何か一部いきやんようなところが、下水道に接続できやんというような話が聞こえてきまして、この額で、当初予算で、全戸が一斉にということはないかも分かりませんが、足るんかなと思うて、そこら辺の心配をして聞くわけなんですけど、どうでしょうか。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 上下水道課長、真砂浩行君。
- 上下水道課長（真砂 浩行） 上下水道課長、真砂。
小林委員仰せの件につきまして回答させていただきます。
合併浄化槽補助金につきましては、下水道区域外、認可区域外に新築工事等で発生するものについて5人槽、7人槽、10人槽というふうな話の区分けで補助を出しております。今、言われておる田丸小学校周辺の開発に関しましては、中楽ハサクラ線より南側、そこは用途地域に入っております、下水道認可区域でございます。それで、開発の中では、下水道を開発費でもって結ばれておる業者さんも見えるんですけども、一部、浄化槽で一旦しのぐわというふうなことも聞いております。そこについては補助対象外ということで、この予算計上には関係がないというふうなことでご理解いただけませんか。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） いいですか。
奥川委員。
- 委員（奥川 直人） 奥川です。
環境衛生費の委託料ですね、12節の。可燃物の資源ごみ収集運搬処理委託料という形で、先ほど職員の方が退職をされるんで直営から委託に替えていくと、これは当初計画

にあります。理解はしています。行政と事業者との割合といいますか、それもどうい
割合になるのか、百ゼロになるのか。それで、職員の方も見えると思うんで、その辺の
扱いについてはどんな形になるのかなど、お聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 税務住民課生活環境室長、山口成人君。

○税務住民課生活環境室長（山口 成人） 生活環境室長、山口。

令和3年度におきましては、以降なんですけれども、今、4名の中で3名になってしま
うと。そうすると、まずパッカー車のほうが、収集車のほうが1台という流れになり
ます。ですので、令和3年度、可燃物の火曜、金曜コースをまず委託化をします、今年
度と比較して。それに伴いまして、合理化計画との整合も若干ございますんですけれど
も、町のほうといたしまして、令和3年度、今まで委託で出しておりました蛍光管の収
集、あと乾電池の収集、そのあたりにつきましては直営に戻す形になります。蛍光管に
ついては直営に戻す形で処理をしていきます。それと、あと乾電池につきましては、
ちょっと利便性のほうを考えまして、今まで年2回ほど第5水曜日に収集をしておた
んですけれども、もう集積場に常設で収集をかけていくというような形で進めてまいり
ます。そちらは委託の中に集約をかけて、項目としては出していないでというふうな
流れになってきます。

あと、町のほうとしまして、今、ペットボトルのほうは令和2年度も収集しておるん
ですけれども、ここにつきましては、パッカー車1台で収集が可能という状況になりま
すので、令和3年度以降、引き続き直営化という流れで進めてまいります。ですので、
まとめますと、直営で行うものにつきましては、ペットボトル、蛍光管、あと個人のお
宅へお伺いする粗大ごみの収集というような流れになってきます。残りのものは全て委
託ということになります。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。

ほかございませんか。

山路委員。

○委員（山路 善己） 2目予防費、12節委託料の中で3行目の検診委託料、たしか前立
腺検査とおっしゃっていましたが、これ、来年度からですね。そして、年齢と検
査方法P S Aだと思うんで、その辺ちょっと教えてください。年齢は何歳以上とかそう
いうふうになっているに違うのかなと思うんですが。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 保健福祉課地域共生室長補佐、西野珠代さん。

○保健福祉課地域共生室長補佐（西野 珠代） 保健福祉課地域共生室長補佐、西野。

お尋ねの件ですが、対象年齢については50歳以上の男性の方を想定させていただいて
おります。検査方法については、P S Aで血液検査のほう予定しております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。

○委員（山路 善己） よく分かりました。ありがとうございます。

12月の定例会だと思うんですが、ある議員の質問の中の一つを実行していただけるわ

けですか。

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** それ、誰が言うたかという中身の確認ですか、今の質問は。

（「いいです、いいです」と呼ぶ声あり）

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 予算審議ですので、そこに焦点を当ててやっていただけませんか、時間も大分経過しておりますので。よろしくご協力お願いします。

次に、2項清掃費、68ページ、質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○**予算決算常任委員長（坪井 信義）** 以上で4款衛生費についての質疑を終わります。

次に、82ページから86ページの9款消防費について説明をお願いします。

総務政策課防災対策室長、見波智俊君。

○**総務政策課防災対策室長（見波 智俊）** 防災対策室長、見波。

私のほうから、9款消防費につきましてご説明を申し上げます。

82ページ下段から、9款消防費、1項消防費、1目常備消防費は、広域消防及び玉城出張所に要する経費で、前年当初と比較をいたしまして、2億1,763万8,000円増の4億2,638万8,000円を計上いたしております。

需用費の修繕料で、町内消火栓区画表示塗り替えのための費用を新規計上、また委託料の広域消防委託料では、消防職員の退職者増のほか、はしご車のオーバーホール、通信機器、これはOSの更新ということで聞いておりますが、こちらの経費などによりまして、前年当初と比較をいたしまして、3,542万円の増額。委託料と工事請負費では、伊勢市消防署玉城出張所建設に係る工事管理等委託費や建設工事費をそれぞれ計上していることが増額の主な要因でございます。

次に、83ページ、2目非常備消防費は消防団に要する経費で、前年当初と比較して94万9,000円減の1,184万1,000円を計上いたしております。報酬は消防団員70名の報酬費を、報償費は消防団員7名分の退職報償金を、旅費は消防団員の出勤、点検、警戒の費用弁償をそれぞれ計上いたしております。負担金、補助及び交付金は、説明欄記載の各負担金を昨年とほぼ同額を計上いたしております。

次に、84ページ、3目水防費は、水防団に要する経費で17万3,000円を計上し、前年当初と同額といたしております。

次に、4目災害対策費は、警報待機職員手当など災害対策全般に要する経費で、前年当初と比較して256万5,000円増の1,777万7,000円を計上いたしております。職員手当等は、警報待機に係る時間外手当を、需用費の消耗品費は署員防災服の更新費用、衛生用品などを購入する費用として434万2,000円を、食料費では避難所用として水、ビスケット、ミルクなど災害備蓄食料品を計画的に備えるため244万1,000円を計上いたしております。備品購入費は、地域減災力強化推進事業費県補助金を受け、玉城中学校及び

田丸小学校へ設置する防災倉庫の設置費用を計上いたしております。

85ページにかけ、5目防災対策費は、防災対策全般に要する経費で、前年当初と比較して1億799万4,000円増の2億8,199万4,000円を計上いたしております。防災会議に係る経費や防災資機材購入経費をはじめ、防災行政無線デジタル化に係る設計費等経費や工事費、負担金、補助及び交付金では自主防災資機材等整備補助金などを計上いたしております。この中で、委託料の災害ボランティアセンター事業委託料につきましては新規計上ということでございますが、地域防災計画に基づく取組の一環といたしまして、町内で活躍をされておられます防災ボランティアを養成するための講座の開催や、また活動への支援を行うものとして15万円を計上させていただいております。また、前年度に引き続いて、防災行政無線デジタル化更新工事として2億3,738万2,000円を、また委託料、使用料及び賃借料、工事請負費にわたりまして、防災行政無線デジタル化更新工事に合わせ、複数メディアに連携するための装置設置工事費及び防災行政無線から防災情報をメールやラインなど、こういった多くのメディアに一斉配信するシステムの経費並びにJアラート自立起動機設置工事費など、合わせて2,479万6,000円を新規に計上させていただいております。備品購入費では、防災行政無線個別受信機の地区放送設定用のパソコンの購入費を計上いたしております。なお、前年から427万3,000円の減額をいたしておりますが、昨年は雨量観測装置を設置したことによりまして、今年度は大きく減額をさせていただいております。

私からは以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 説明終わりましたので、質疑を行います。

1項消防費、82ページから86ページ、質疑はありませんか。

小林委員。

○委員（小林 豊） 全部、これ関連してくるのかなと思うんですけども、今、一方ちょっと分かりにくいところがあって、もっと分かりやすく説明してほしいんですが、複数メディア連携装置設置等工事請負費等、このすぐメールPlus+使用料ですか。こちら辺と、あと防災無線のデジタル化に伴う更新工事、どんなような形でどうなっていくかというのを、ちょっと分かりやすく説明していただけるとありがたいんですけども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課防災対策室長、見波智俊君。

○総務政策課防災対策室長（見波 智俊） 防災対策室長、見波。

私のほうから、複数メディア連携に関する内容についてご説明を申し上げたいというふうに思っております。

先ほど、先ほどといいますか、一般質問の中でもございましたデジタル化のほうが進んでおるといふようなことの中で、玉城町におきましても、町の防災行政無線、こちらをデジタル化に更新をさせていただいておりますというところでございますが、このデジタル化のメリットというのは、今、お話をさせていただくように、複数メディアに連携できるというのが一番のメリットというふうなものとなっております。

具体的には、今現在のアナログの防災行政無線につきましては、職員が放送内容を読み上げて、その内容を録音し、そして住民の方にその情報を流すという、これだけしかできないわけなんです。デジタル化によりまして、複数メディア連携装置ということ。を今回、設置をすることによりまして、どのようなことができるかと申しますと、この防災行政無線で流した情報を今、スマートフォンをたくさんの方が持っておられるんですが、そういったパソコンやスマートフォンに瞬時に防災情報等を配信することができるというふうな仕組みでございます。玉城町では、防衛省の補助を受けまして、個別受信機を各家庭に配布をさせていただいております。よその市町ですと、外にスピーカーを設置しておられるような市町村もおるんですが、玉城町では防衛省の補助を受けておることによって個別受信機を各家庭に配っております。ただ、その場合ですと、やはり弊害といたしまして、室内ではよろしいんですが、外で作業されておられるときとか出かけておられるときに、防災情報というのが届かないというふうな現状がございましたので、この点がデジタル化によりまして、メールやラインを使って一斉配信されることによって、誰でも防災情報が享受できるというふうなことができる。その仕組みを今回、構築するために予算を計上させていただきましたので、何とぞご理解いただきたいというふうに思います。

○委員（小林 豊） 大体、分かりましたんやけど、結局のところは、何か災害が起きたときに外出しておっても、自分のスマホへ登録しはったら、こういうことが起きたとか、そういうのが分かるような仕組みやということで、そういう理解でよろしいですかね。

○総務政策課防災対策室長（見波 智俊） 防災対策室長、見波。

小林委員仰せのとおりでございます。すみません、予算のところ、ちょっと説明が漏れておまして申し訳ございません。一斉配信をする関連予算といたしましては、まず12の委託料のところにおきまして、すみません、85ページになります。85ページの12節委託料、防災行政無線連携初期設定委託料、こちらの170万5,000円、そして13節使用料及び賃借料におきまして、すぐメールPlus+使用料、これが69万3,000円。玉城町のデジタル化の運用が恐らく半年先になろうかなということですので、これは半年分の計上となっております。

さらには、工事請負費におきまして、複数メディア連携装置設置等工事請負費といたしまして、これが、私、先ほど言いましたJアラートの自動起動機と合わせてなんです。が、複数メディアの連携装置といたしましては1,737万円ということで、Jアラートの自動起動機につきましては502万7,000円というふうなことで、合わせての金額2,239万8,000円を計上させていただいております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で9款消防費についての質疑を終わります。

次に、103ページ、11款災害復旧費から105ページ14款予備費、106ページ給与明細書から117ページ歳入歳出総計表及び純計表についての質疑を行います。ここでは補足説明は省略します。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、11款災害復旧費から歳入歳出総計表及び純計表についての質疑を終わります。

それでは、ここまでの総括的な質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で質疑を終わります。

ここで参与交代のため休憩をいたしますが、ちょうど1時間たちましたので、10分間休憩をします。

3時15分から始めます。

(午後3時05分 休憩)

(午後3時15分 再開)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、再開します。

これからは産業振興課、建設課、教育委員会になります。

所管課が変わりましたので、歳入から質疑を行います。また、歳出については各款ごとに所管課長より補足説明なり施策についての説明後、項を単位に行います。なお、総括的な質疑は最後に行いますので、あらかじめご了承ください。

それでは、16ページ、1款町税から17ページ、2款地方譲与税まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、18ページ、2款地方譲与税から19ページ、8款ゴルフ場利用税交付金まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、20ページ、9款環境性能割交付金から21ページ、15款使用料及び手数料まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、22ページ、15款使用料及び手数料から23ページ、16款国庫支出金まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、24ページ、16款国庫支出金から25ページ、17款県支出金まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、26ページ、27ページ、17款県支出金まで質

疑はありませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） それでは、県負担金の県支出金、4目の土木費県負担金の中の地籍調査負担金で、地籍調査県負担金が今年は昨年より倍ぐらいになっているということです。この積み上がった負担金につきましては、どんなようなことでこうなったのか、お聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当（松田 臣二） 建設課長補佐都市計画担当、松田。

奥川委員、ご質問の件でございますが、令和3年度につきましては、三重県のほうに当初予算要望を計上した額を計上しておるところでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そうしますと、去年はこれがちょっと少なかったんで活動ができなかったということでしたよね。だから、今年は当初からそういう申請をしたら出るというふうな、安易なことなんですけれども、そういうことで、前回は評価もされてどうのこうのって私は思っていました。玉城町の実績が低いからというふうなこともあるのかなと思っていたんですが、申請が十分できていなかったから、なかったということでもいいんですか、もう一遍、確認しますけれども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当（松田 臣二） 建設課長補佐都市計画担当、松田。

令和2年度につきましては、今年度当初で計上した金額よりも少ないということでしたが、令和3年度につきましては、2年度に調査をいたしましたところの閲覧工程というのが残ってございます。その事業と、あと次の地域につきましては一筆調査及び測量の工程の調査のほうを予定しているところでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） いわゆる、今年、令和3年でこんなことをしますよということで申請したから、これぐらいのお金が下りたということでもいいんですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当（松田 臣二） 建設課長補佐都市計画担当、松田。

これにつきましては、まだ交付決定はなされてございません。申請の金額という形になっておりますので、交付金額につきましてはまた変更がある可能性もございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。

ほかございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） じゃ、次に30ページ、20款繰入金から31ページ、22款諸収入まで質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、32ページ、22款諸収入から33ページ、23款調査費まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） じゃ、次に34ページ、23款調査費及び10ページ、11ページ、第2表債務負担行為、第3表地方債まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） これで歳入についての質疑を終わります。

次に、当初予算別添資料も併せて、歳出についての質疑を行います。

69ページの5款……

（「43ページの奥川委員の」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） その前に、前段のところで奥川委員からありました、43ページ関するやつです。

（「ちょっと待ってな。29ページのふるさと応援給付金」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それじゃ、産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

29ページのふるさと応援給付金の5,000万円の額についてということですね。

昨年と同様の金額にさせてもらっています。歳出のほうにつきましては、新たな取組としまして、いわゆる寄附の納付、あと返礼品等の業務の委託のほう見ておりますが、歳入のほうではそのままやないかということやったかなと思うんですが、ふるさと納税のほう、返礼品合戦というところちょっと語弊があるか分かりませんが、やっぱり返礼品を探しにいかないとうちでも寄附が集まらないというところがありまして、今年は1億円を達成することができました。来年度もそれ以上の目標を持っておりますが、もちろん返礼品のことがありますもんで、当初予算としては5,000万円で計上させてもらっております。ご理解いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） そうしますと、一応ここに書いてある5,000万だけれども、目標は1億を狙うとるということで、発送というのは今回、新しくそういう業務が委託されたんですが、本来はこれも少し聞きたかったんですが、これはこういう形で委託をするということです。

あと、私はあまりこの近隣、見てないんですけども、玉城町の1億円というのは近隣で見るとどのレベルなんかなというふうに思うてまして、もし、ご存じであれば、近隣の市町はどれくらいのふるさと納税寄附金を頂いておるんかなと。調査しておられれば聞かせてください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

実は近隣で言いますと、明和町様、高城町様、伊勢市様に鳥羽、志摩、全て高額の寄

附金をもらっておるのを承知しております。そこに向けまして、やっぱり私どものほうも返礼品と一緒に併せて寄附金を増やしていきたいと今、考えていまして、今回、歳出のほうの業務委託も含め、1億円以上を目標にやっていきたいと考えております。

○委員（奥川 直人） すみません、43ページの交通安全対策で工事請負費の区画線の設置工事の請負費ですけれども、いわゆる計画といいますか、どこをどうするのかということが、あらかじめこの計画段階でもう決めているのかなとういことをお聞きしたかったです。お願いします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐、藤原正成。

○建設課長補佐（藤原 正成） 建設課長補佐、藤原。

ご質問に対しまして、お答えさせていただきます。

こちらの工事請負費、区画線設置工事請負費でありますけれども、こちらにつきまして、令和3年度につきましては、田丸学区内の区画線の修繕と、クロスマークを中心に整備しておくという計画で予定しております。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） これは予算に直接関係ございませんので、この程度でやめておいてください。

それじゃ、その意見、先ほど申し上げましたが、労働費についての説明をお願いします。

産業振興課長、里中和樹。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

それでは、昨年度当初予算と比較しまして、大きく変わったところを中心に説明させていただきます。

69ページ、労働費、1項労働諸費、1目労働諸費で、12節と20節の生涯現役促進協議会関係の費用は、本協議会の総会で決定をいただいた上で、令和3年度も継続していくという方針であります。

18節中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金は、中小企業の従業員の福利厚生を高めるため設置している伊勢地域勤労者福祉サービスセンター ジョイワークの負担金で、20節の労働金庫協調融資貸付金は勤労者の持ち家の促進を図るための貸付金として計上いたしております。

続きまして、よろしいですか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 労働諸費だけ、終わったか。

説明が終わりましたので、1項労働諸費の69ページ、これについて質疑ありませんか。中西委員。

○委員（中西 友子） 中西です。

この生涯現役の協議会の経営というか、国から委託を受けて3年ということだったんですが、ちょうどその3年目がこの3月で終了ということで、これをほかの議員さんが質問されたときは規模を縮小してでも続けていくという答弁をされていたと思います。

経営状態の報告などがなされていないんですが、この生涯現役のほうの経営状態というか、行ってきた報告などはございませんか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 副町長、田間宏紀君。

○副町長（田間 宏紀） 副町長、田間。

2年半続けてきたところでございます。これは厚労省の10分の10の受託というふうな形でやってきておりますので、経営収支というのがございません。予算に対して100%いただいて、その100%を執行するというふうな内容でございますので、そのような形で、今、今までの成果というか、効果的なものというようなことで、これにつきまして今、ホームページ等で掲載もさせていただいておりますし、あとケーブルテレビの中でも、今、シンポジウムというような形で流させていただいております。細かい数値につきましては、ちょっと持ち合わせておりませんが、今までのいろんな各種研修事業、またマッチングというふうな形で、事業者そしてまたシニア世代の方への手続きを行ってきたと。今年度、このシニア世代の部分が終了するというふうなことから、町の単独の中で、今申し上げたように規模を縮小し、シニア世代だけじゃなしに、今、やはり女性参画というふうな中で、例えば、時間のあるママの、奥様方のご協力を得ながら、そういうふうな形での取組というの、今後やっていきたいというふうなことで、令和3年度から単独の事業の中で考えさせていただいたということで、計上させていただいております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 中西副委員長。

○委員（中西 友子） すみません。先日の一般質問の中で、ほかの議員さんが質問されているときに、この生涯現役の成果について、町長が3年間、2年半ちょいですか、の中で訪れた人が600人、その中でハローワークとの成功が49人かな、というのをお話し、答弁でされていたと思われるのですが、それで、3年間で計算してみると、1年間で200人、1日単位で直すと1人当たりしか訪れていないという計算になるんですが、この事業、進めていく意味はあるんでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 副町長、田間宏紀君。

○副町長（田間 宏紀） 副町長、田間。

この事業につきましては、今までの就労とマッチングというふうな形で、実際させていただいておりますし、これに伴う形で就労していただいております方が、ちょっと細かい件数はありませんけれども、やっぱり実績として着実に伸びてきておるというふうなことがありまして、やはりこれが続けていく必要があるというふうなこと、また、研修等につきましても、たくさんの方が研修に参加をさせていただいておりますというふうなことから、継続して町の単独事業の中で考えていきたいなど。

この事業につきましては、いろんな複数の事業を取りまとめて展開をしようというふうなことも、併せて財源的なことも含めまして、計画をいたしておるところでございます。

す。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 中西副委員長。

○委員（中西 友子） すみません、副町長のおっしゃることはよく分かりましたが、議会のほうでも報告というのは、これからしていただきたいと思います。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、5款労働費についての質疑を終わります。

次に、69ページから74ページの6款農林水産費について説明願います。

産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

それでは、6款水産費、1項農業費、1目農業委員会費は農業委員会の運営、事務に関する経費を計上しております。本年度は、17節農地地図情報ソフト購入費44万円を計上しておりますが、こちらウインドウズ7のサポート終了によるウインドウズ10バージョンを購入するものによります。

続きまして、2目農業総務費は、産業振興課職員5人の人件費に係る諸経費を計上しております。

続きまして、70ページ、3目農業振興費は地域農業の振興を図るための事業費を計上しております。10節印刷製本費では、計上経費に加え、町内に食料自給率、地産地消啓発のパンフレットの印刷代を計上しております。

引き続きまして、71ページ、お願いします。

71ページ、12節地産地消推進事業委託料では、計上分に加え、町、JA、町内企業様とお米の消費拡大のための施策を考える委託金を計上しております。

13節水田台帳システム借上料は、システムがネットワーク化されることによるものでございます。

18節病虫害防除対策事業費事業補助金は、先ほどもありましたがジャンボタニシ駆除対策費用でございます。

同じく、ちょっとこれ誤字がありまして申し訳ございません。学校給食地産地と地が、すみません2つ入っております。訂正のほうをよろしくお願ひしたい思います。学校給食地産地消推進補助金の減額につきましては、現在、栄養士の先生と、町内産材料の補填だけではなく、子供たちが地産地消を強く意識するような仕組みを相談中でございまして、今年は減額をしております。

同じく、食料自給力向上対策助成事業交付金の減額につきましては、既に生産者の方々と来年度の作付面積の確認をし、国の交付金を見合った上で、話し合った上での今回の減額をしております。

同じく、経営継承発展等支援事業交付金は新しい事業で、担い手などの経営継承を発展を支援するための交付金でございます。

4目畜産推進費は、地域畜産の振興を図るための事業費を計上しております。72ページにCSFワクチン接種費補助金、これは1頭当たり230円のワクチン接種を2分の1補助するものでございます。昨年同様、松阪は松阪牛導入支援や、畜産環境の、先ほど質問もありましたが、畜産環境衛生事業補助金も同時に計上しております。

続きまして、5目農地費です。農業基盤整備に関するものとして計上しております。

12節農村地域防災減災事業業務委託料において、岡村地区の北山田、小亀池の機能廃止工事の設計をしまして、14節農村地域防災減災事業工事請負費で、同じく北山田、小亀池と、田辺地区の大山田池の機能廃止工事を予定しております。

18節で、4つの県営事業の負担金を計上しております。

同じく、町担土地改良事業補助金は、勝田土地改良区、あと1件、見込みとして計上しております。

同じく、農地耕作条件改善事業補助金で、原のキウイ関係の補助金と、今年から人・農地プランなどで集積しました農地の集約が進むよということ、圃場のあぜ除去または均平事業のための補助金を計上しております。

6目です。地域農政推進事業費としまして、18節農業近代化資金利子補給補助金は、収支を受けて農業の経営改善を図る農家への利子補助金を計上しております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 林業費。

○産業振興課長（里中 和樹） 失礼しました。

それでは、7目の農業集落排水事業費は、農業集落排水事業特別会計へ繰り出すものとして6,482万7,000円を計上しております。

すみません、2項林業費、1目林業振興費は、林業全般に関する経費や有害鳥獣対策、林道整備に関する経費を計上しています。

12節木質化工事設計委託、14節公共施設木質化工事請負費はアスピータ玉城施設内の内装の木質化を図りたく計上しております。

18節玉城町鳥獣害防止総合対策協議会負担金は、協議会が実施します獣害対策の柵設置への負担金を計上しています。

同じく、狩猟免許取得費補助金につきましては、猟友会後継者確保のため、新規でわなや銃の狩猟免許に係る費用の一部の補助金を計上しています。

24節森林環境譲与税基金積立金は、森林整備等の財源とするための積立金を計上しております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 順次質疑を行います。

1項農業費、69ページから73%を範囲に質疑を行います。ありませんか。

谷口委員。

○委員（谷口 和也） 谷口です。

農業費18節の経営継承発展等支援事業交付金というのがあります。これ、全協のときの説明でいくと、家族経営農家の経営を継承し発展等させる取組という説明をもらったんですけども、この130万という金額ですけども、現実これどういうことをされるのか、ちょっとお聞きしたかったんですけども。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

こちらにつきましては、国の令和3年度予算の概算決算額のみを使用を見て、支給に計上したものでございまして、内容の金額としましては、国が先ほど言いました中心経営体となれる方々の事業継承をするために、後継者のために国が50万円、町が50万円で、町が独自にその事業を受けるためにプラス30万を乗せて、トータル130万円の額を計上して、これ、一応1件分です、計上させてもらっております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 谷口委員、よろしいですか。

○委員（谷口 和也） はい。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） この回、林業振興費で……

○予算決算常任委員長（坪井 信義） いやいや、今、農業費しよか。

○委員（奥川 直人） 農業費なん、いいです。じゃいいです。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 37ページまでの農業費。

（「進行」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） いいですか。

じゃ、2項林業費、73ページから74ページ。

奥川委員。

○委員（奥川 直人） 林業振興費の18節の負担金・交付金の関係ですが、今回、玉城町鳥獣害防止総合対策協議会負担金で、先ほどのご説明によりますと、柵造りだという形でご説明いただきました。獣害対策の電気柵のことだと思いますが、どれぐらいの規模を考えておるのか、また、どういった手続でこれをすればいいのか、こうお聞きをしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

今年の実績でちょっと言わせてもらいたいと思います。今年、1事業当たり3万円の頭打ちで補助金の助成をさせてもらっておりまして、現在、ちょっと申請件数ございません、ちょっと忘れちゃったけども、トータルで約20ヘクタールの田畑が柵で守られた

というふうになっております。金額的にこれだけの面積が守られたということは、かなり実績があるのかなと、私のほうは考えております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） この予算を有効に使うために、各集落から申請を出すのか、どんな形になっておるのかなと。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

こちらの事業の申請につきましては、それぞれの方々が個人で、または共同で役場の産業振興課の窓口申請に申請いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 奥川委員。

○委員（奥川 直人） はい、わかりました。ありがとうございます。

もう一点、同項の24の積立金をお聞きします。

森林環境譲与税基金積立金という形で406万4,000円ですか、これを積み立てるといふ計画になっていますが、この計画は積み立てていくのはいいんですけども、プランとして、どのぐらいの金額にどういふことをしたいんだといふことを、もしお考えであればお聞かせを願ひたいと思ひます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

こちらの予算につきましては、まず規模として、来年度で3年目になります。約、それを入れますと1,000万近い額が基金のほうへ積み立てられます。今、考えておるのが、今、その農地ではないですけども、山林につきましてもちょっと放置されておるといふ言い方がちょっと申し訳か分かりませんが、その現状を皆さんどうですかといふアンケートを先行して、来年度中に中身を考え、再来年度にはそのアンケートに基づいて、新しく、どういふふう計画をしていくかといふのを考えたいなど、今考えております。そのときには自治区様のほうに入つて、協力を得たいなど、今思つております。

以上です。

○委員（奥川 直人） はい。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、以上で6款農林水産費についての質疑を終わります。

次に、74ページから76ページの7款商工費について説明願ひします。

産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

それでは、74ページの商工費、1項商工費、1目商工総務費につきましては、産業振

興課職員2人の人件費を計上しております。

2目商工振興費は、地域の商工、観光業の振興を図るための事業費を計上しております。まず、商工費としまして、1節会計年度任用職員報酬におきましては、今もやっておりますが、マイナポイントの手續を支援するための職員費として計上しております。3節におけます時間外勤務手当におきましても、マイナポイントの事業を伴う費用として計上しております。

75ページです。

12節町内企業紹介動画制作委託料は、町内企業様の声で、会社の名前は聞いたことがあるが何をつくっていて、どんな会社なのか分かってもらえず、求人でも苦勞しているという話を聞いてございます。このことから、企業に参加をいただいて、その企業を紹介する動画を作成するものでございます。

18節企業誘致セミナーの受講料は、企業誘致の手法や規制などを勉強する研修会がございまして、そちらのほうに参加したいと考えております。

次、観光費としまして、また12節観光情報発信誘客促進事業委託料の中で、まず観光協会の人件費、施設管理費として約720万円、観光パンフレット等の制作委託料として165万円、ふれあいの館の空きスペースを利用したチャレンジショップの運営というものを考えていまして、こちら36万円、あと、冬の田丸城跡のライトアップの費用などを計上しております。

あと、ふるさと納税返礼品に係る費用を7節報償費で1,500万。これに係る11節通信運搬費627万4,000円を、また27節で山村振興事業特別会計操出金のほうに2,121万7,000円をそれぞれ計上しております。

3目消費者保護推進費につきましては、消費者保護に係る啓発経費、また消費者相談に係る相談等の経費を計上しております。

以上になります。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 説明が終わりました。質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、7款商工費についての質疑を終わります。

次に、76ページから82ページの8款土木費について説明を願います。

建設課長、中村元紀君。

○建設課長（中村 元紀） 建設課長、中村。

それでは、所管に対します8款についてご説明をさせていただきます。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費におきましては、一般職員4名に係る人件費あるいは土木全般に係る経費を計上してございます。昨年度比較といたしまして、472万8,000円減となっております。主なものといたしましては、この事業の主なものといたしましては、12節委託料におきまして、社会基盤データの更新業務委託料でござ

います。減額の主な要因につきましては、人件費の減によるものでございます。

次ページ、お願いいたします。

続きまして、2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費におきましては、道路橋梁に係る全般的な経費で、2名の人件費、車両の経費などを計上してございます。前年度比較いたしまして、336万5,000円減の819万4,000円を計上してございます。これにつきましても、減要因は人事異動に伴う人件費の減でございます。

続きまして、2目、78ページのほうです。2目道路維持管理費につきましては、前年と比較いたしまして9,562万3,000円と大きく増になってございます。これにつきましては、橋梁の補修業務につきまして、昨年度までは道路新設改良費のほうの科目に計上しておりましたんですが、修繕ということで今年度からこちらの維持管理費のほうに持ってまいりましたので、大きく増となっております。額につきましては、1億7,885万2,000円となっております。

内容の主なものといしましては、12節の委託料でございますけれども、橋梁の測量設計と委託料ということで1,600万円計上してございます。これにつきましては、従来からやっております令和2年度に行いました橋梁の点検受けまして、橋梁の長寿命化計画の策定業務及び高速道路に係るオーバブリッジでございますけれども、2橋ございまして、その点検業務合わせて1,600万を新規に計上してございます。

14節工事請負費におきまして、一番下段でございますけれども、道路改良等工事請負費につきましては、矢野地内の稲次橋の架け替えの費用及びあと4橋の橋梁修繕の費用合わせて7,700万円を計上してございます。また、14節の工事請負費では、妙法寺久保線ほかの側溝補修、朝久田蚊野線、田丸世古線、勝田玉城インター線の舗装補修などの道路補修工事請負費6,300万円、道路維持補修工事請負費につきましては除草の費用で1,200万円を計上してございます。

続きまして、3目新設改良費につきましては、前年度比較いたしまして4,510万2,000円減の7,247万5,000円としてございます。原料費につきましては、先ほど話させていただいた内容でございます。

12節の委託料におきまして、5年に1度の橋梁点検の部分がなくなっておりますのと、あと稲次橋の設計業務が終了したものによるものが主なものとなっております。

14節の道路改良工事請負費につきましては、町道原蚊野線の道路改良、妙法寺ミワ線の舗装の工事を予定してございます。

16節の公有財産購入費につきましては、田丸宮古線などの土地の購入費3,802万8,000円を計上してございます。

79ページ、お願いいたします。

3項河川費、1目河川総務費につきましては、前年度比較いたしまして451万9,000円減の1億1,555万1,000円としてございます。

12節の準用河川除草作業等の管理委託料1,072万1,000円のほか、昨年に引き続き、外

城田川の災害防止対策に係ります工事請負費1億円を計上してございます。

80ページ、4項都市計画費、都市計画総務費につきましては、職員1名に係る人件費、都市計画全般に係る経費を計上してございます。前年と比較いたしまして、259万4,000円増の3,068万9,000円としております。

主なものとしたしましては、12節委託料におきまして、昨年度から引き続きやっております都市計画マスタープランの策定費用466万3,000円でございます。

地籍調査業務委託料につきましては740万3,000円、水辺の楽校の管理委託料といたしまして300万3,000円を計上してございます。

81ページ、14節の工事請負費につきましては、水辺の楽校に設置いたしましたポンプの周囲に樹木でフェンスを設置する工事請負費47万5,000円のほか、18節の負担金補助及び交付金で、新規に狭隘道路事業ということで、4メートル未満の道路を4メートル以上に広げる、いわゆるセットバックをされるときに個人さんが負担していただく分筆費用とかの補助といたしまして、1件当たり15万円を上限といたしまして補助をしようということで75万円を新規に計上してございます。

次に、5項住宅費、1目住宅管理費では、職員1名に係る人件費のほか、町営住宅の管理に係る経費を見込みまして、前年度比較といたしまして22万7,000円増の900万円を計上してございます。

82ページの2目住宅対策費では、空き家対策、木造住宅耐震に係る経費などを見込み、前年度比較して405万円増の1,169万1,000円を計上してございます。

新規に12節の委託料におきまして、空き家バンク物件調査業務委託料22万円を計上するほか、18節負担金補助交付金におきまして、空家リフォーム補助金、木造空家除却工事費補助金を増額してございます。

以上でございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 説明が終わりましたので、項目別に質疑を行います。

1項土木管理費、76ページから77ページの範囲、質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、2項道路橋梁費、77ページから79ページの範囲、質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、3項河川費、79ページ、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、4項都市計画費、80ページから81ページ、質疑ありませんか。

山路委員。

○委員（山路 善己） 1目都市計画総務費、ずっとずっときて、81ページの18節ですけ

れども、負担金補助及び交付金、そして、下から2番目狹隘道路、これ2項道路ですよね、道路整備等促進事業補助金、セットバックの補助とおっしゃいましたけれども、もうちょっと具体的に説明していただけますか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当（松田 臣二） 建設課課長補佐都市計画担当、松田。

この狹隘道路整備等促進事業でございますが、道路交代用地に係る舗装、測量、分筆費用を補助する制度になります。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。

○委員（山路 善己） セットバックするということは、要するに新規測量して、何メートルか、中心から2メートル分、分筆せないけませんでしょう。その地籍調査にしようとかそんなんでもないんです、今の話では。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長補佐都市計画担当、松田臣二君。

○建設課長補佐都市計画担当（松田 臣二） 建設課課長補佐都市計画担当、松田。

地籍調査ですか。

○委員（山路 善己） このままでいいか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） どうぞ。

○委員（山路 善己） 要するにセットバック、道路の中心から2メートルまで下がる、引けやないけませんでしょう。そうするとき、自分が家建てるときなんか、要するに下がらないけないけれども、そして、その自分の土地を地籍調査して、2メートル分、分筆せないけませんでしょう。そのときの費用も補助の対象になるんですかということ。2項道路ですよね、これ。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 建設課長、中村元紀。

○建設課長（中村 元紀） 建設課長、中村。

山路委員おっしゃるように、当然、境界立会い、測量、あと分筆等の費用、これに対して補助をさせていただくということでございます。

○委員（山路 善己） この金額だけで足りるんですか。

（発言する者あり）

○委員（山路 善己） はい、分かりました。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、5項住宅費、81ページから82ページ、質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、8款土木費についての質疑を終わります。

次に、予算書86ページから102ページの10款教育費について説明願います。

教育委員会事務局長、中西 豊君。

○教育委員会事務局長（中西 豊） 教育委員会事務局長、中西。

それでは、教育委員会事務局が所管する予算のうち、まず教育総務課の予算について説明をいたします。

86ページ、中段からお願いします。

10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費は教育委員会に係る経費で前年度当初予算と同額の73万5,000円を計上しております。

次に、86ページから88ページにおける2目事務局費では、教育長及び教育総務課職員4名の人件費、事務局運営経費及び村山龍平記念館の管理運営経費で5,936万3,000円を計上、前年度当初予算対比で1,365万8,000円の増額としております。

20節の給料及びこれに付随する職員手当、共済費等の人件費において2名から4名への組替えによる増加。

また、17節備品購入費では公用車の老朽に伴う新規購入費、18節負担金補助及び交付金では88ページの説明欄における度会郡指導主事室の共同設置負担金が前年度対比で62万7,000円増加することが主な要因となっております。

続いて88ページ、3目教育指導費は、外国語指導助手、いわゆるALTに関する経費及び英語コミュニケーション力向上事業に関する経費で、1,331万9,000円を計上し、前年度対比で71万6,000円の減額としております。減額の主な要因は、令和2年度では委託料として計上しておりましたALT1名に関する経費を令和3年度で直接雇用とすることにより減額となるためでございます。これにより、ALTは直接雇用2名、JETプログラムによる雇用1名の合計3名体制となっております。

続いて、89ページ、2項小学校費、1目学校管理費は、小学校4校の管理に要する経費及び小学校建設に要する経費で2億598万4,000円を計上し、前年度対比で3,185万6,000円の増額としております。増額の主な要因は、91ページまでいっていただきまして、14節工事請負費における田丸小学校講堂の空調機器更新工事費の前渡金分3,000万円で、90ページ、12節の実施設計委託料503万7,000円と合わせて計上しており、全体事業費9,200万円を令和4年度までの債務負担行為としております。

同じく、12節の委託料では、第6次総合計画前期基本計画の重点目標としております学校施設の長寿命化計画の一環としまして、最も老朽度を超える緊急性の高かった有田小学校講堂の屋根修繕に係る設計費も計上しております。また、令和2年度で整備しましたGIGAスクール関連機器の保守委託料191万円は新規項目となります。

続いて、91ページから92ページにかけて、2目教育振興費では、教材備品生徒補助就学援助費及び教育振興等に係る経費で1,292万6,000円を計上し、前年度対比で26万9,000円の減額としております。

17節備品購入費のうち、理科教材に係る備品購入費の減額によるものでございます。

92ページ、下段から3項中学校費、1目学校管理費は中学校の管理に要する経費で6,128万9,000円を計上し、前年度対比で182万2,000円の増額としております。増額の主

な要因は、小学校費と同様94ページの12節委託料において、GIGAスクール関連機器の保守委託料47万9,000円を新規に計上しているほか、17節備品購入費において老朽化した印刷機及び玄関シューズボックスの購入費として80万1,000円を計上しているためでございます。

95ページ、2目教育振興費は教材備品、生徒補助金、就学援助費及び教育振興等に係る経費で、1,029万8,000円を計上し、前年度対比で75万9,000円の減額としております。減額の主な要因は、17節備品購入費におけるクラブ活動備品が令和3年度の当初予算では皆減となっておりますためでございます。

以上、教育総務課が所管する予算の説明といたします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 教育委員会生涯教育課長、平生公一君。

○教育委員会生涯教育課長（平生 公一） 生涯教育課長、平生。

これからは、生涯教育課のほうで所管する予算について説明を代わらせていただきます。

95ページから97ページにわたりまして、4項社会教育費、1目社会教育総務費ですが、これは社会教育全般に係る事務経費で、生涯教育課職員5名分の給料を含んだ3,808万9,000円を計上しています。

次に、97ページ、2目公民館費は、公民館事業等に係る経費で1,211万5,000円を計上し、前年度比較539万4,000円の増額となっております。増額の主なものといたしましては、12節委託料におきまして、かねてより要望のあった玉城町図書館の増改装工事を行うため、実施設計業務564万7,000円を新規計上したことによるものです。

次に、97ページから99ページにわたる3目文化財費は、田丸城跡玄甲舎をはじめとする各種文化財保護に要する経費で、6,588万1,000円を計上し、前年度比較2,948万3,000円の増額となっております。増額の主な要因といたしましては、14節工事請負費におきまして、令和元年度より着工している田丸城跡石垣の積み直しに係る工事費の増額、また、12節委託料では、石垣積み直し工事施工の際の管理費及び国指定に向けた田丸城跡の測量費の新規計上によるものであります。

次に、99ページから100ページにわたる4目中央公民館費は、中央公民館の管理運営に係る経費で、1,771万2,000円を計上し、前年度比較132万9,000円の増額となっております。増額の主なものといたしましては、12節委託料において、老朽化した空調機器の改修を今後進めていくため、基本設計業務委託料として165万円を新規計上したことによるものであります。

次に、100ページ、5目青少年対策費は、青少年の健全育成活動に要する経費で、98万2,000円を計上しています。主に、消耗品費9万8,000円の増額となっております。

次に、100ページから101ページにわたります5項保健体育費、1目保健体育総務費は、町民体育祭、市町対抗駅伝など、体育事業及びスポーツ推進事業に係る経費で810万5,000円を計上しています。主なところでは、三重とこわか国体協議として、デモンス

トレーションスポーツ2種類の開催に伴う10節需用費、11節役務費等96万3,000円の増額となっております。

次に、102ページ、2目保健体育施設費は、総合グラウンドをはじめとする各種体育施設、町営プール等の管理経費で1,120万4,000円を計上し、前年度比較2,177万5,000円の減額となっております。減額の主なものといたしましては、14節工事請負費において経年劣化における体育センターの屋根の改修に要する費用及び12節委託料において、これら改修に係る設計管理費を減額したことによるものであります。

以上、教育委員会が所管する予算についての説明といたします。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ありがとうございます。

説明が終わりましたので、順次質疑を行います。

1項教育総務費、86ページから88ページまでを質疑といたします。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、2項小学校費、89ページから92ページまでを質疑とします。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 3項中学校費、92ページから95ページまで質疑を行います。

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 4項社会教育費、95ページから100ページを質疑といたします。

ございませんか。

津田委員。

○委員（津田 久美子） 津田です。

10款教育費、4項社会教育費、これは1目社会教育総務費の中の18節負担金補助金及び交付金の中の国際交流協会補助金について伺います。

多文化共生など、クローズアップされる中で必要な活動団体だと思われませんが、活動の実績について教えてください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 教育委員会生涯教育課長、平生公一君。

○教育委員会生涯教育課長（平生 公一） 生涯教育課長、平生。

津田委員仰せの国際交流協会補助金を使った活動についての質問にお答えします。

こちらは、中央公民館を拠点としまして、外部団体のほうが活動しております。活動内容につきましては、外国から玉城町にお移り、お住みの方からいろいろな料理であるとか、地域文化であるとか、そこら辺の共有をしながら、個々のスキルアップに励んで

おると。また、この先には地域外部の視察等も計画しておるといふうに聞いておりました。毎年のように実績報告のほうを受けております。ただ、今年にあってはコロナの関係がありまして、いつものような活動がされていないということで聞いております。

以上です。

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいですか。
- 委員（津田 久美子） はい。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、5項保健体育費、100ページから102ページ、質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、10款教育費についての質疑を終わります。
次に、103ページの11款災害復旧費から、105ページ、14款予備費、106ページ、給与明細書から117ページ、歳入歳出総計表及び純計表についての質疑を行います。ここでは補足説明は省略します。
質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で、11款災害復旧費から117ページ、歳入歳出総計表及び純計表についての質疑を終わります。
それでは、ここで総括的な質疑を行います。
質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で本案に対する質疑を終わります。
続いて討論を行います。
まず、本案に対する反対討論の発言を許します。
ございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で討論を終わります。
これから、議案第27号 令和3年度玉城町一般会計予算を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。
（全 員 挙 手）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。
したがって、議案第27号 令和3年度玉城町一般会計予算は、原案のとおり可決されました。
それでは、暫時、参与の交代もごさいますので、暫時休憩、10分ほど休憩をします。
20分から再開します。

(午後4時05分 休憩)

(午後4時20分 再開)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは再開します。

これより特別会計、企業会計の審査を行います。これからの審査は歳入歳出全般を対象とします。

日程第13 議案第28号 令和3年度玉城町国民健康保険特別会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 議案第28号 令和3年度玉城町国民健康保険特別会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから議案第28号を採決いたします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第28号 令和3年度玉城町国民健康保険特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第14 議案第29号 令和3年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第29号 令和3年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから議案第29号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第29号 令和3年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第15 議案第30号 令和3年度玉城町山村振興事業特別会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第30号 令和3年度玉城町山村振興事業特別会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから議案第30号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第30号 令和3年度玉城町山村振興事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第16 議案第31号 令和3年度玉城町農業集落排水事業特別会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第31号 令和3年度玉城町農業集落排水事業特別会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。
ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 以上で本案に対する質疑を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 討論なしと認めます。
以上で討論を終わります。
これから議案第31号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 挙手全員です。
したがって、議案第31号 令和3年度玉城町農業集落排水事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第17 議案第32号 令和3年度玉城町介護保険特別会計予算

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 次に、議案第32号 令和3年度玉城町介護保険特別会計予算を議題にします。
これから質疑を行います。
発言を許します。
中西副委員長。

- 委員(中西 友子)** はい、中西です。
5ページの債務負担行為、これ、協のほうに委託に出すという話だったんですけども、協に決めた理由というのは何なんでしょうか。

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 保健福祉課長、奥野良子さん。

- 保健福祉課長(奥野 良子)** 保健福祉課長、奥野。
すみません、今回の債務負担行為につきましては、生活支援コーディネーターを3か年にわたり委託をするというものですので、協への委託ということではございません。

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 中西副委員長。

- 委員(中西 友子)** はい、中西です。
すみません、説明のときには協の上のほうへの委託ということだったんですけども、協ではないんなら、公募というか入札制度にしてもよかったんじゃないですか。

- 予算決算常任委員長(坪井 信義)** 保健福祉課長、奥野良子さん。

- 保健福祉課長(奥野 良子)** 保健福祉課長、奥野。
来年度からの、令和3年度からの3か年の事業として委託をするものですので、公募

もしくは必要なことを行いまして、事業者の選定は行っていこうと思います。中西委員もおっしゃって見えます協の運営につきましては、令和3年度から新しく保健福祉事業費というものを予算化しておりまして、その部分でございます。

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 勘違いか。
- 委員（中西 友子） 勘違いか。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） よろしいか。
- 委員（中西 友子） はい。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で本案に対する質疑を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なしと認めます。
以上で討論を終わります。
これから議案第32号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。
（全 員 挙 手）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。
したがって、議案第32号 令和3年度玉城町介護保険特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第18 議案第33号 令和3年度玉城町後期高齢者医療特別会計予算

- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 次に、議案第33号 令和3年度玉城町後期高齢者医療特別会計予算を議題にします。
これから質疑を行います。
発言を許します。
ありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 以上で本案に対する質疑を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論なしと認めます。
以上で討論を終わります。
これから議案第33号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全 員 挙 手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第33号 令和3年度玉城町後期高齢者医療特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第19 議案第34号 令和3年度玉城町病院事業会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第34号 令和3年度玉城町病院事業会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ありませんか。

(「な し」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「な し」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから議案第34号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全 員 挙 手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第34号 令和3年度玉城町病院事業会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第20 議案第35号 令和3年度玉城町水道事業会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第35号 令和3年度玉城町水道事業会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ありませんか。

(「な し」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから議案第35号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第35号 令和3年度玉城町水道事業会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第21 議案第36号 令和3年度玉城町介護老人保健施設事業会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第36号 令和3年度玉城町介護老人保健施設事業会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから議案第36号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を願います。

(全員挙手)

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。

したがって、議案第36号 令和3年度玉城町介護老人保健施設事業会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第22 議案第37号 令和3年度玉城町下水道事業会計予算

○予算決算常任委員長(坪井 信義) 次に、議案第37号 令和3年度玉城町下水道事業会計予算を議題にします。

これから質疑を行います。

発言を許します。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 以上で本案に対する質疑を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 討論なしと認めます。
以上で討論を終わります。
これから議案第37号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 挙手全員です。
したがって、議案第37号 令和3年度玉城町下水道事業会計予算は、原案のとおり可決されました。
ちょっと、暫時休憩します。
企業会計、その他の方はお帰りください。

(午後4時27分 休憩)

(午後4時30分 再開)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) それでは、再開します。

日程第23 議案第38号 令和3年度玉城町一般会計補正予算(第1号)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 議案第38号 令和3年度玉城町一般会計補正予算(第1号)を議題にします。
歳入全般についての質疑を行います。
発言を許します。

(「なし」と呼ぶ声あり)

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) ありませんか。
それでは、次に歳出全般についての質疑を行います。
発言を許します。
山路委員。

- 委員(山路 善己) 2款総務費、1項総務管理費、6目企画費、それから12節委託料、こども宇宙プロジェクト業務委託料ですが、先日の全員協議会と昨日の質疑で答弁されたのを聞いておまして、ちょっと疑問に思うことがありまして質問しております。
モザイクアートを宇宙に上げる、宇宙に上げると、これ宇宙、宇宙空間のことですか。それとも国際宇宙ステーションISSか、多分これと違うかなと思いますけれども、宇宙、宇宙とおっしゃったんで、その辺の確認です。

- 予算決算常任委員長(坪井 信義) 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

- 総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。
ご指摘の宇宙についてでございますけれども、ISSまたはそのロケット内ということを考えております。
以上でございます。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。
- 委員（山路 善己） ロケット内とはどういうことですか。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 分かるように言うたって。
総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。
- 総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。
先ほど、山路委員がおっしゃられましたISS、まさに国際宇宙ステーションというのが1つの候補として上がっておりますし、そのうち上がったロケットの中というのは、機内というんですか、そういうことでございます。
以上でございます。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。
- 委員（山路 善己） ISSなら意味があるのかなと思ったけれども、単に宇宙へ上げるだけで燃え尽くすということですね。
（「燃え尽くさへんやろ」と呼ぶ声あり）
（「燃え尽くすんかどうかと聞いとるよ、山路さんは」と呼ぶ声あり）
- 委員（山路 善己） もう一度、はい。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。
- 委員（山路 善己） ISSに届けるというのなら意味があると思います。しかし、単に宇宙へ上げる、上げるだけではあんまり意味がないかと思うんですが、それで宇宙、宇宙とおっしゃったんで、どういう意味かなと思って聞きましたけれども、まだ、そこまで煮詰めていないというか、そういった感じかなと思いますが。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） どうなん、現時点で答弁できるか。
- 総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） ちょっと休憩していただけますか。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 暫時休憩します。
（午後4時34分 休憩）
（午後4時35分 再開）
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） それでは、再開します。
山路委員。
- 委員（山路 善己） 山路です。
宇宙通信とおっしゃっていましたがけれども、これは明らかにISSとこれ地上と間の通信ありますわね。
- 予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。
- 総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

おっしゃるとおりでございます。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。

○委員（山路 善己） もう一回、最後です。

全国で、もう随分古くから小学校なんか、宇宙ステーションと地上の間で恐らく飛んでいる間、3分から長くても5分ぐらいの間だと思います。その間に交信しているのを報道もされています。ですから、それをやる予定なんですね。あんまり分からんけれども、いいですわ。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 答弁要らないんですか。

（「質問されているんやったら だけいただかんと」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 総務政策課地域づくり推進室長、中川泰成君。

○総務政策課地域づくり推進室長（中川 泰成） 地域づくり推進室長、中川。

そのISSとの具体的な通信の仕方については、今後協議してまいります。ですので、その何時間も話できるわけでもありませんし、どういう方法でというのは今後協議ということでご理解いただきたいんですが、そのISSへ届いたそのモザイクアートの映像としては、その通信ができる、するようにしていく予定でございます。

以上でございます。

○委員（山路 善己） もう一つ、最後。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路委員。

○委員（山路 善己） 本当に最後にします。

全国の小学校なんかでそういった通信をやっております。ただ、本当に宇宙空間を飛んでいるのを3分からなかった、5、6分なんです。その貴重な時間にやっています。ぜひ子供たちの夢をかなえるために、また私も関心もありますけれども、非常にいいことだと思いますので、今後、またそのようにやってください。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 山路さん、無線の専門家ですからね。

○委員（山路 善己） 金がない無銭やね。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかにございませんか。

前川委員。

○委員（前川 さおり） 7款商工費、1項商工費、2目商工振興費。

（発言する者あり）

○委員（前川 さおり） ページ言ったほうがいいですか。13ページ。

18節負担金補助及び交付金の中で、クラウドファンディング応援補助金100万円計上されているかと思います。もし、過去に利用された事業者さんがあったとしても、また新規で使えるのでしょうか。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 産業振興課長、里中和樹君。

○産業振興課長（里中 和樹） 産業振興課長、里中。

これらの対象者については、まだ詳細に決めてはございませんが、過去にもらってい

たら駄目ではなくて、また国も新しい補助金等を出していますよね。前回は中小企業庁の持続化給付金を給付された方に対象とさせてもらっておったんですが、次回につきましてもそのような形で進めていきたいと思っております。

以上です。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 前川委員。

○委員（前川 さおり） こういう予算というか事業というのは、本当に困っていらっしやる事業者さんには本当に喜ばれることだと思いますので、不公平なく、隅々まで周知行き渡るようにお願いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（坪井 信義） ほかございせんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 質疑なしと認めます。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 討論終わります。

これから議案第38号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 挙手全員です。

したがって、議案第38号 令和3年度玉城町一般会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

以上で本委員会に付託されました議案の審査は全て終了しました。

これで予算決算常任委員会を閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○予算決算常任委員長（坪井 信義） 異議なしと認めます。

これで予算決算常任委員会を閉会しますが、本会議での委員長報告は、審議内容は議事録をご覧くださいこととし、省略をさせていただき、結果の報告とさせていただきますので、ご了承願います。なお、当初の議事日程では、月曜日も予算委員会となっておりますが、全ての案件が終了いたしましたので、月曜日の予算委員会は開会しませんのでご了解ください。これで閉会します。ご苦労さまでした。

（午後4時40分 閉会）